取扱説明書

保証書付き
（裏表紙に付いています）

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-VA10PBK

このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
お読みになった後は、据付説明書、かんたんガイド、余った付属品などと一緒に大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

使いかたを
動画で確認

URL https://aqua-has.com/cp/laundry/prette-howto



ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願いいたします。
https://aqua-has.com/support/reg/

もくじ

ご使用の前に

環境に配慮した使いかた …… 3
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 3
安全上のご注意 (必ずお守りください) …… 4
各部のなまえ／付属品 …… 7
操作パネル部のはたらき …… 8
洗濯の前に …… 10
洗濯の流れと機能 …… 12
　やわらか脱水　ほぐし仕上げ　お手入れ(カビケア／槽乾燥)　槽洗浄お知らせ
ふたロック／チャイルドロック …… 15
洗剤・柔軟剤の使いかた**《自動投入》** …… 16
洗剤・柔軟剤の使いかた**《手動投入》** …… 18
　予約時の洗剤類の入れかた　石けんの入れかた
洗剤類の使用量【目安】 …… 20
コースの選びかた …… 22
コース内容と所要時間【目安】 …… 24

使いかた

洗濯する …… 26
　(標準) (衣類ケア) (おいそぎ) (念入り) (ジェルボール) (ガンコ汚れ)
自分流の運転内容を記憶させる (自分流) …… 27
デリケートな衣類を洗濯する (おしゃれ着) …… 28
毛布・ふとんを洗濯する (ふとん・毛布) …… 30
風乾燥をする …… 32
コースの運転内容を変更する【お好み設定】 …… 34
風呂水を使って洗濯する …… 36
予約運転をする …… 38

必要なとき

こんなとき …… 39
　■自動投入に使う液体洗剤・柔軟剤の種類を変えたい
　■運転途中に運転内容を変更したい　■終了ブザー音を消したい
　■自動設定水量を調節したい　■洗いの水流を強くしたい(強水流)
　■のりづけをしたい　■凍結のおそれがある
お手入れ …… 42
　■本体　■給水口　■排水口
　■手動液体洗剤投入容器　■自動投入タンク・経路
　■洗濯・脱水槽 (槽洗浄) …… 44
　■糸くずフィルター　■風呂水ポンプ　■風呂水ホース
据え付け …… 47
故障かな？ …… 55
こんな表示がでたら …… 59
　修理を依頼する前に …… 60
別売部品 …… 61
仕様 …… 62
保証とアフターサービス …… 62
お客さまご相談窓口 …… 63
保証書 …… **裏表紙**

環境に配慮した使いかた



- 標準コース：給水量毎分15L、水量55Lの場合で比較しています。

■風呂水を使う ➡P36~37

風呂水を「洗い～すすぎ1」まで使用すると水道水のみに比べ、約38L節水できます。

■ためすすぎをする ➡P25・34~35

注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約35L節水できます。

本製品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。



■まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）が、0（ゼロ）になっています。



■軽い汚れ※の場合、洗剤量を控えめにする

※軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです。

■洗剤を入れすぎない

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】7年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4による

区　分	項　目	条　件
環境条件	電　圧	100V
	周波数	50Hz-60Hz
	温　度	20℃
	湿　度	65%
	設置条件	P47～54の記載内容による標準設置
負荷条件	負　荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03～0.8MPa
	給湯・給水温度	20℃±15℃
使用時間及び回数	1 日の平均使用回数	1.5回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365日
	1 年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。
⚠ 注意	傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない「禁止」内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

本体／洗濯・脱水槽

⃠
- **子供を洗濯・脱水槽内に入らせない**
  （窒息・やけど・感電・けが・おぼれる原因）
- **子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない 本体の近くに台などを置かない 子供など不慣れなかただけで使わせない**
  （洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因）
- **回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない**
  完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。（けがの原因）

  特に子供には注意してください

  チャイルドロック➡P15
- **分解・修理・改造は絶対にしない**
  （火災・感電・けが・水もれの原因）
  修理はお買い上げの販売店、または当社
  修理相談窓口➡P63にお問い合わせください。
- **お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない**
  （感電・漏電火災の原因）
- **火気を近付けない**
  ローソク・タバコ・蚊取り線香など
  （火災・変形の原因）
- **引火物や、引火物の付着した洗濯物を洗濯・脱水槽に入れたり近付けたり絶対にしない**
  引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなど引火性のあるもの
  （爆発・火災の原因）
- **本体上面に磁石など磁気を帯びたものを近付けない**
  （上ぶたが開いた状態での誤動作によるけがの原因）

❗
- **動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**
  （感電・漏電・ショートによる火災の原因）

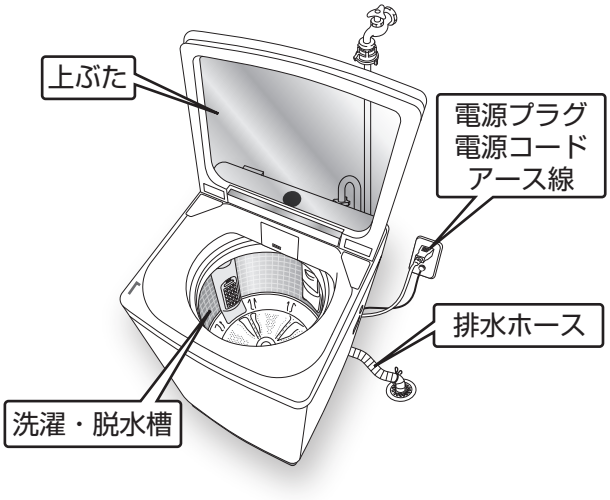
電源プラグ・コード

⃠
- **電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない**
  （破損による火災・感電の原因）
- **ぬれた手で抜き差ししない**
  （感電の原因）
- **延長コードは使用しない**
  （火災・感電の原因）
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
  （火災・感電の原因）

❗
- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う 電源プラグは根元まで確実に差し込む**
  （火災・感電の原因）
- **定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る**
  （ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因）
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）
- **長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから必ず抜く**
  （絶縁劣化による感電・漏電火災の原因）

風呂水

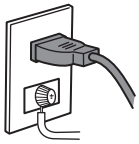
⃠
- **風呂水ホースで灯油・ガソリンなど水以外のものを吸い込まない**
  （爆発・火災の原因）



⚠ 警　告

据え付け

- **浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない**
  （感電・漏電火災の原因）
- **アースを確実に取り付ける**
  （故障・漏電による感電の原因）
  アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。工事費は本体価格には含まれません。



上ぶた

- **ロックしている上ぶたを無理に開けない**
  （上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因）
- **上ぶた（ガラス面）に物を落としたり、衝撃を加えたりしない**
  上ぶた（ガラス面）の上に乗ったり、物を置いたりしない
  （破損〔割れ・傷・ひび〕によるけがの原因）
  万一、ガラスが破損した場合は使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- **本体に手を置いたまま、上ぶたを開閉しない**
  （手や指をはさむことによるけがの原因）

⚠ 注　意

据え付け

- **直射日光のあたる場所には据え付けない**
  （プラスチック部品の変色・変形の原因）
- **冬期に凍結のおそれのある場所には据え付けない**
- **排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする**
  （けがの原因）

本　体

- **運転中、本体の下に手足を入れない**
  （けがの原因）

給　水

- **50℃以上のお湯は使わない給湯器とつながない**
  （感電・漏電の原因）
- **さび・砂鉄の含まれる水は使わない**
  （井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・故障の原因）

安全上のご注意（つづき） 必ずお守りください

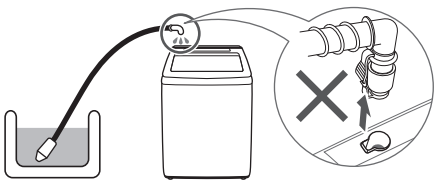
⚠ 注　意

運転前後

- **運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する**
  （水もれの原因）
- **運転終了後は、水栓を必ず閉じる**
  （水もれの原因）

風呂水

- **風呂水は、本体が浴槽の水面より低い場所では使わない**
  （サイフォン現象により、水が出続ける原因）
- **風呂水ポンプを浴槽に入れたまま給水つぎ手をはずさない**
  （サイフォン現象により、水があふれ出し床をぬらす原因）



洗濯物

- **防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない**
  （洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

例
足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車･バイク･自動車のカバー、防水シートなど、その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法

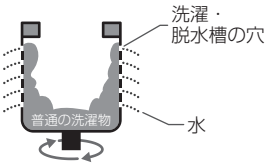
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。



脱水のご注意

■普通の洗濯物

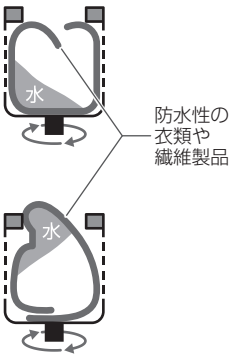
洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜け出る



■防水性の衣類・繊維製品

洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が片寄って大振動を引き起こす

洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が上に移動して大振動とともに飛び出る



ご注意

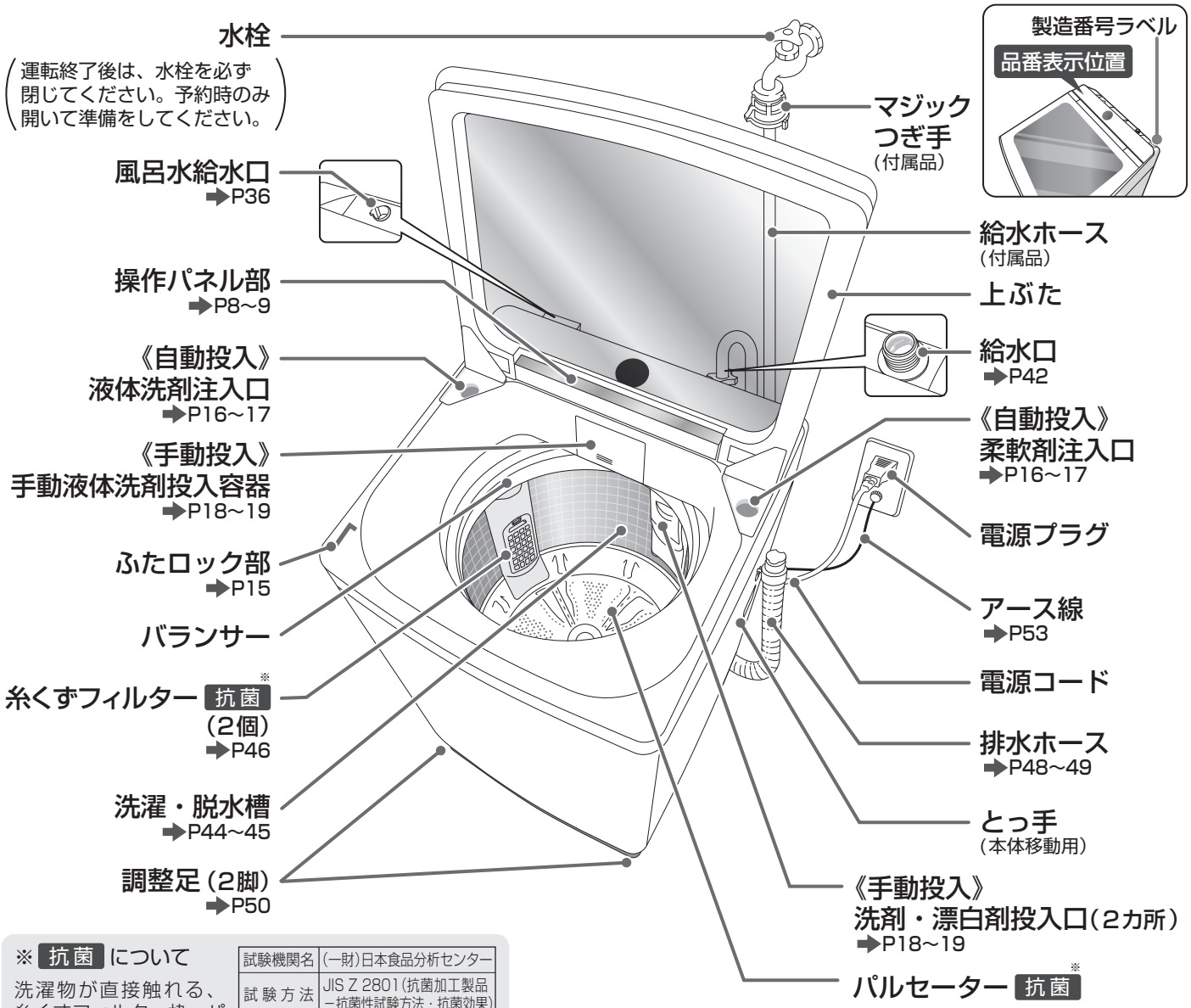
- プラスチック部分に洗剤･柔軟剤･漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部品が割れるおそれがあります。



お願い

- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから早めに抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すすぎ・脱水中に上ぶたがロックされない場合や脱水中にふたロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合、「E4 68」を表示した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

各部のなまえ／付属品

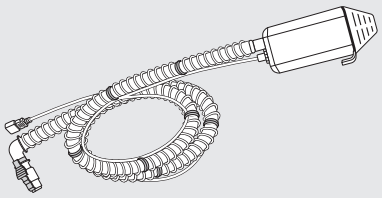


※ 抗菌 について

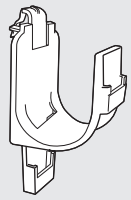
洗濯物が直接触れる、糸くずフィルター枠、パルセーターに抗菌剤入り樹脂を採用しています。

試験機関名	(一財)日本食品分析センター
試験方法	JIS Z 2801(抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果)
抗菌の方法	抗菌剤を樹脂に練り込み
試験結果	99.0%以上の抗菌効果

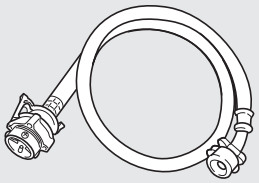
付属品



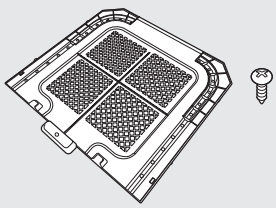
風呂水ポンプ
（1本・長さ約4m）
➡P36・46



風呂水ホース掛け
（1個）
➡P36



給水ホース
（マジックつぎ手付き）
（1本・長さ約80cm）
➡P51～53



底カバー（1枚）
ネジ（1本）…給水ホースの袋の中に入っています。
➡P48

操作パネル部のはたらき

残時間・予約時間などの表示

水量・洗剤量の目安表示 布量検知➡P12

- 布量検知後、水量を約５秒間、洗剤量の目安を約５秒間表示します。
  （「ジェルボール」「おしゃれ着」「ふとん・毛布」コースでは、洗剤量を表示しません。）

（例）水量55L、洗剤量0.8杯の場合



予約時間 ➡P38

- 予約中は、何時間後に運転が終了するかを表示します。

（例）2時間後に運転が終了する場合



残時間

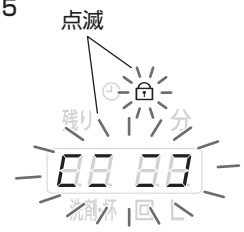
- 運転中は、残り時間を分単位で表示します。

（例）残り35分の場合



ふたロック解除中 ➡P15

- 洗濯・脱水槽の回転中に電源を切ったとき点滅します。





お手入れ

- 「お手入れ」を使用するときに➡P14
  - 「カビケア」「槽乾燥」が選べます。
  - 選んだ機能のランプが点灯します。
- 「槽洗浄お知らせ」➡P14
  - 洗濯・脱水槽をお手入れするタイミングを の点滅でお知らせします。

洗い・すすぎ・脱水

- お好みの運転内容に変更するときに➡P34～35
  - 「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせるときに
  - 洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間などの内容を変更するときに
  - 「やわらか脱水」を設定するときに➡P13
  - 「強水流」を設定するときに➡P40
- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。



洗剤／柔軟剤

- 液体洗剤／柔軟剤の自動投入を使うときに➡P16～17

液体洗剤や柔軟剤を洗濯のたびに自動で投入します。

風乾燥

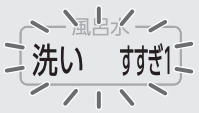
- 洗濯物の干し時間を短縮したいときに➡P32～33

洗濯物の種類に応じて時間を選びます。

風呂水

- 風呂水を使って洗濯するときに➡P36～37

風呂水利用で異常が発生したとき、ランプが点滅します。



お知らせ表示 ➡P59~60

- 異常が発生したとき、点滅とブザーでお知らせします。



(例)給水しない場合

すすぎ回数 ➡P24~25

- すすぎの回数を表示します。注水すすぎを行う場合は「注水」ランプが点灯します。



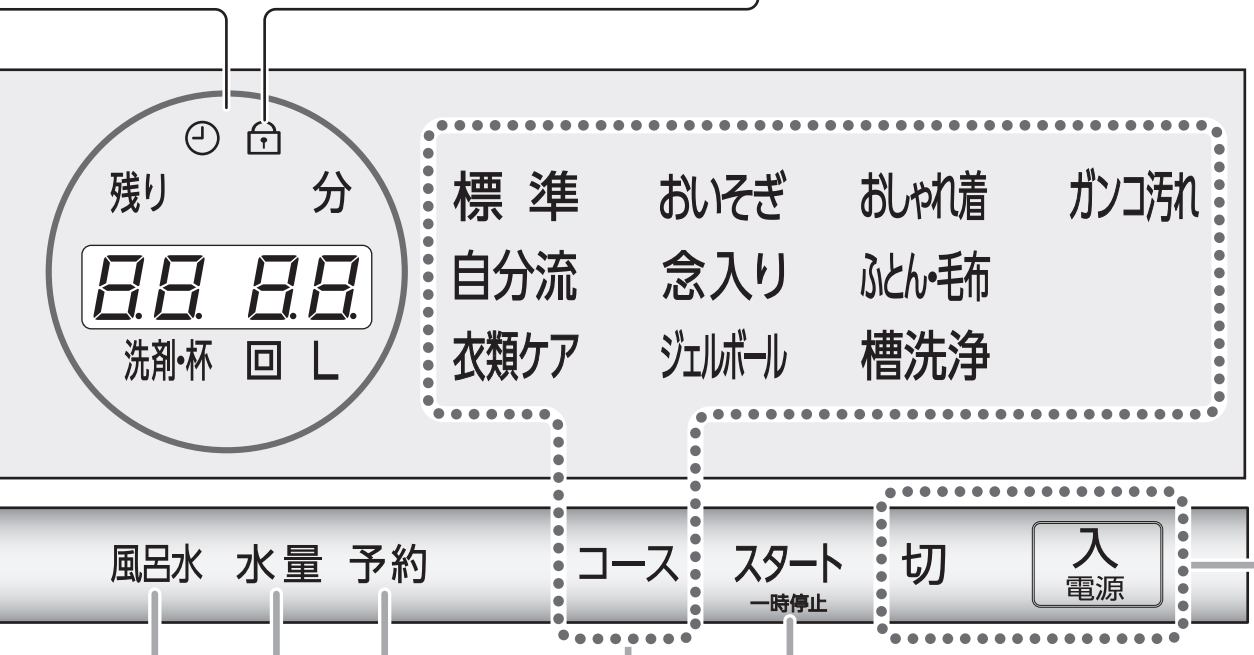
(例)ためすすぎ3回の場合

ふたロック表示 ➡P15

- 点灯中
  上ぶたはロックされ開きません。
- 点滅中
  ロック動作開始~完了までの間、または解除中です。
- 消灯中
  上ぶたを開けることができます。

電源 切・入

- 電源の「入」「切」に
  電源を入れると記憶しているコースのランプが点灯します。　記憶機能➡P12
- オートオフ機能 (自動的に電源が切れます)
  - 運転が終了したとき ……約5秒後
    - 凍結防止(残水排水)設定➡P41時は、約10分後に切れます。
    - 槽洗浄お知らせ➡P14時は、約2時間後に切れます。
  - スタートせずに放置したとき ……10分後



水量

- お好みの水量に変更するときに
- 設定水量を確認するときに
  - タッチ1回：水量の確認
  - タッチ2回以上：水量の変更
- 自動設定水量を調節したいときに ➡P40

予約

- 予約運転をするときに ➡P38
  今から何時間後に運転を終了するか設定します。

コース

- コースを選ぶときに ➡P22
  選んだコースのランプが点灯します。

スタート/一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
  もう一度タッチすると運転を再開します。
- 運転中にふたロックを解除するときに ➡P15



お知らせ
- ボタン操作で各種設定(終了ブザー音を消すなど)をすることができます。こんなとき➡P39~41
- コースによっては選べない設定があります。➡P22~25

洗濯の前に

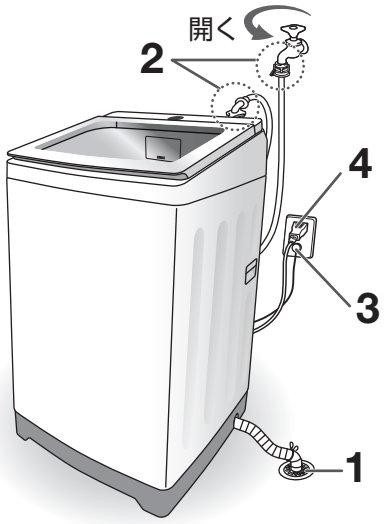
本体の準備

1 排水ホースを排水口に差し込む
- 排水ホースの抜けがないか確認してください。

2 給水ホースをつなぎ、水栓を開く
- マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける

4 電源プラグをコンセントに差し込む



■詳しくは、
「**据え付け**」➡P47~54をお読みください。
■風呂水を使うとき➡P36~37

洗濯物の準備

洗濯できないもの

左の取扱い表示がある衣類

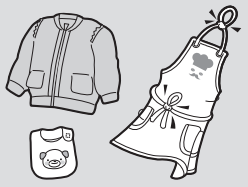
- **衣類の取扱い表示がないもの、素材が不明なもの**
- **芯地を多く使っており、型くずれするもの**
  ネクタイ・ジャケット・スーツなど
- **水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材**
  レーヨン・キュプラおよびその混紡品、絹・ウールなどの中で強撚糸使いの生地（ジョーゼット・クレープ・ちりめんなど）
- **毛倒れするもの**
  ビロードなどのパイル地
- **表面の凹凸などが消えやすいもの**
  シワ・エンボス・樹脂加工品など
- **皮革・毛皮、それらの装飾品の付いたもの**
- **和服・和装小物**
- **色落ちしやすいもの**
- **防水性のマット・シートや衣類など** ➡P6

洗濯物を確認する

衣類の取扱い表示に従う



ひもは結ぶ
ボタン・面ファスナーは留める
ファスナーは閉める
- 衣類や本体を傷める原因になります。



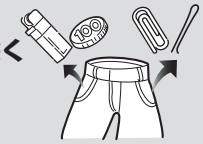
髪の毛・ペットの毛は落とす
- 本体の故障を防ぐためです。



飾りのある衣類・起毛素材の衣類は裏返して洗う
- 衣類の傷み、毛玉を防ぐためです。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する
カーテンフック・ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く
- 排水経路に詰まり、故障・異常音・衣類や本体を傷める原因になります。



衣類の取扱い表示（例）


洗濯機で洗濯ができる



手洗いができる


洗濯できない



塩素系および酸素系の漂白剤による漂白ができる



酸素系漂白剤による漂白はできるが、塩素系漂白剤による漂白はできない



漂白処理はできない

汚れがひどいものは前処理をする

シミ汚れ



- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のシミの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く
- 飲料水・化粧水が付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す（ピンク色に変色する原因）

えり・そで口の汚れ



- 専用洗剤を塗る

または、

- 石けんや洗剤液を付けて、やさしくブラッシングする



泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤を付けて、もみ洗いをする
- ブラシなどで落とす（本体の故障を防ぐため）



洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの

◆ 分け洗いする

色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する



糸くずの付着が気になる衣類

- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
- 裏返して洗う

デリケートな衣類

◆「おしゃれ着」コースで洗う

- レースの付いた衣類・ランジェリー・ナイロンストッキングなどは洗濯ネットに入れる
- ワイヤー入りのブラジャーは細かい網目の洗濯ネットに必ず入れる（ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります）



お願い

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは使わないでください。
- 洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。
- 大きめの洗濯ネットや複数の洗濯ネットを入れた場合は、振動が大きくなったり、脱水ができなくなったりすることがあります。一時停止し、洗濯・脱水槽内の洗濯物の片寄りを直してください。

洗濯物の重さの目安

コースによって洗濯容量が異なります。下表を参考に洗濯容量を超えないようご注意ください。

約50g	約110g	約200g	約300g	約500g	約600g	約800g
 くつ下（混紡）  ブリーフ（綿 100%）	 半袖肌着（綿 100%）	 ワイシャツ（混紡）  ブラウス（混紡）	 セーター（混紡）  バスタオル（綿 100%）	 パジャマ上・下（綿 100%）	 ジーンズ（綿 100%）	 作業服上・下（混紡）

洗濯物の入れかた

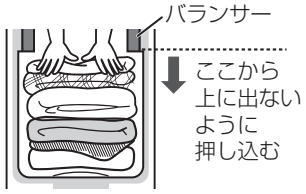
- **水に浮きやすいものやかさばるものから先に入れ、浮かないように均一に押し込む**
  - 水に浮きやすいもの：くつ下やハンカチなどの小物類、フリースなど化繊 100%あるいは混紡衣類、撥水加工を施したものなど
  - かさばるもの：カーテンなどの大物、ジーンズ・柔道着など厚手の衣類

※給水後に浮いてきたら、一時停止をしてバランサーより下に押し込み、水を十分に含ませてください。

- **洗濯物は入れすぎない**

洗濯物はバランサーより上に出ないように押し込んでください。給水後に浮いてきた場合は、一時停止をしてバランサーより下に押し込んでください。

（給水時に水が飛び散り床がぬれる、汚れがよく落ちない、脱水時にはみ出して洗濯物や本体が破損するなどの原因になります。）



洗濯の流れと機能

※標準コースの場合

準備する

- 洗濯物の準備をする ➡P10~11
- 水栓を開く
- 洗濯物を入れる

入 電源 電源を入れる

- 「お手入れ」➡P14
  「風乾燥」➡P32~33
  「風呂水」➡P36~37
  「予約」➡P38
  を必要に応じて選ぶ

スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転して布量検知を開始します。

手動投入時は

洗剤類を入れる

- 洗剤・柔軟剤の使いかた ➡P18~19

上ぶたを閉める（運転開始）

- 運転終了まで上ぶたをロックします。

布量検知 → 洗い





布量検知（洗濯量の計測）

洗濯量を自動的に調べ、適切な水量をお知らせします。

スタート 一時停止 をタッチすると、パルセーターが回転し水量を表示します。

検知するコース

「標準」「自分流」「衣類ケア」「おいそぎ」「念入り」「ジェルボール」コース

洗濯物がぬれている場合	布量を多めに判定します
洗濯・脱水槽内にはじめから水が入っている場合	布量検知をしません 「標準」「自分流」「ジェルボール」コース ➡55Lを表示 「衣類ケア」「おいそぎ」「念入り」コース ➡68Lを表示
お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合	

お知らせ

- 洗濯・脱水槽内に入る実際の水量は無段階のため、水量表示と異なることがあります。
- 自動設定水量は、少なめや多めに調節できます。➡P40
- 「ジェルボール」コースでは、お好み設定で「すすぎ」からスタートすると水量の表示はしません。

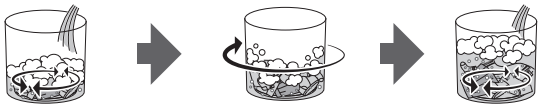
浸透濃縮行程

洗浄力を高めるため、洗いの始めに自動で行います。

- 設定水位が低い場合は、浸透濃縮行程は行いません。

浸透濃縮をするコース

「標準」「自分流」「念入り」「ジェルボール」「ガンコ汚れ」コース



高濃度洗剤液をつくる
少ない水量からかくはんを始め、高濃度洗剤液をつくります。

遠心力でまんべんなく浸透させる
洗濯・脱水槽を回転させ、遠心力により高濃度の洗剤液を衣類全体に浸透させます。

浮かせた汚れを洗い落とす
大きなかくはんで芯から汚れを洗い落とします。

記憶

スタートから約1分後、運転したコースを自動的に記憶します。

記憶するコース

「標準」「自分流」「衣類ケア」「おいそぎ」「念入り」「ジェルボール」コース

次回 入 電源 を押すと、記憶しているコースのランプが点灯します。

スタート 一時停止 ワンタッチでスタートできます。

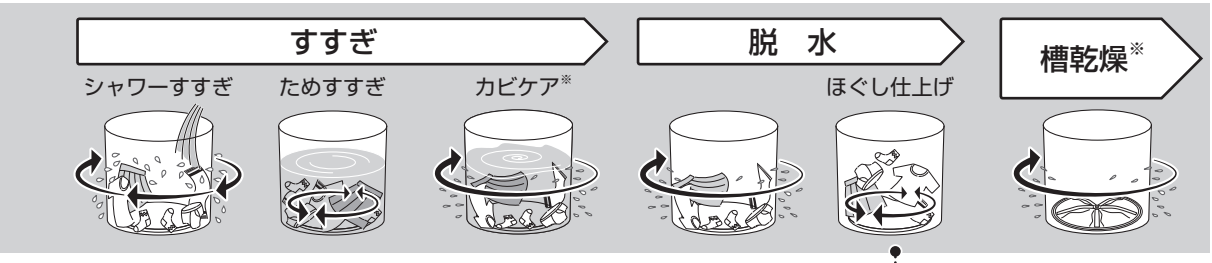
洗濯終了

- 洗濯物を取り出し干す
- 上ぶたを閉める（槽乾燥※を設定した場合 ➡P14）

運転終了

- 水栓を閉じる
- 糸くずフィルターを掃除する ➡P46

すすぎの種類➡P25



※ お手入れ を設定した場合 ➡P14

やわらか脱水

脱水回転数をおさえてやさしく脱水します。
綿素材やデリケートな衣類ではシワや型くずれをおさえて仕上げます。

やわらか脱水を設定できるコース

「標準」「自分流」「衣類ケア」「おいそぎ」「念入り」「ジェルボール」「ふとん・毛布」「ガンコ汚れ」コース

脱水 **をタッチして「やわらか」の「3分」または「5分」を選ぶ**





やわらか脱水設定時

ほぐし仕上げ

脱水後、衣類を取り出しやすくするため、約１分間ほぐし運転をします。

ほぐし仕上げするコース

「標準」「自分流」「念入り」「ジェルボール」コース

ほぐし仕上げをやめたい

電源「入」の状態で、
すすぎ **と** 脱水 **をタッチしながら**
スタート 一時停止 **を約3秒間タッチし続ける**

- 「ピー」と鳴り、設定完了

再度ほぐし仕上げしたい

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、設定完了

お知らせ

- 購入時は設定されています。
- 次のようなときは「ほぐし仕上げ」を行いません。
  - ・水量が55L以上のとき
  - ・水量を手動で設定したとき
  - ・お好みで、すすぎ・脱水または脱水のみを設定したとき
  - ・脱水で「やわらか」を設定したとき

機 能

お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも、記憶しています。
- コースを選んだ後、「洗い」「すすぎ」「脱水」をタッチして変更した運転内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コース ➡P27をご利用ください。
- 前回の風呂水設定内容は「風呂水」、風乾燥時間は「風乾燥」をタッチすると、それぞれ表示します。

洗濯の流れと機能（つづき）

お手入れ（カビケア／槽乾燥）

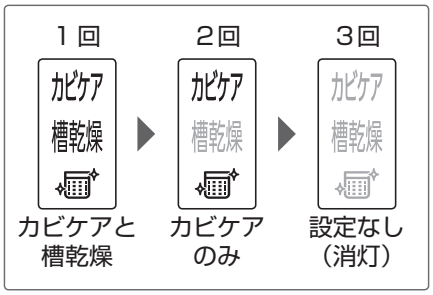
洗濯するごとにお手入れする「カビケア」、お洗濯の延長でお手入れできる「槽乾燥」が設定できます。

お手入れを設定できるコース

「標準」「自分流」「衣類ケア」「念入り」「ふとん・毛布」「ガンコ汚れ」コース

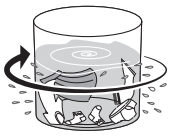
お手入れ を繰り返しタッチするとお手入れの内容が切り替わります。

- コースを選択するときに設定してください。

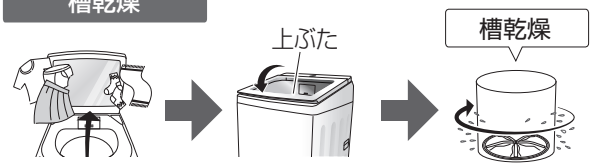


カビケア

すすぎの最後に洗濯・脱水槽を回転させ、遠心力による強い水流で黒カビ発生の原因となる洗剤成分を洗い流します。



槽乾燥



脱水終了後、**電源を切らずに**洗濯物を取り出す。

上ぶたを閉める。 ふたロックがかかり運転が始まる。

1時間高速で回転し、洗濯・脱水槽の水分を取り除く。

お知らせ

- コース運転途中に設定はできません。
- 「槽乾燥」のみの運転はできません。「槽乾燥」のみ行いたい場合は、洗濯物を入れずに「風乾燥」60分 ➡P33 の運転をしてください。
- 「槽乾燥」設定時は、コース運転終了後に上ぶたの開閉がなかった場合、10分ごとにブザーが鳴り、30分経過すると自動的に電源が切れます。

槽洗浄お知らせ

運転回数をカウントし、槽洗浄が必要なタイミングを「🧽」と「槽洗浄」が点滅してお知らせします。
点滅したら「槽洗浄」コース ➡P44～45 でお手入れしてください。

運転回数をカウント

↓

既定の運転回数に達したら

運転終了後、槽洗浄お知らせサインが約2時間点滅します。



↓

「槽洗浄」コース ➡P45でお手入れしてください。

↓

コース終了後、槽洗浄お知らせサインが消灯します。
（運転回数がリセットされます。）



槽洗浄お知らせをやめたい

電源「入」の状態で、お手入れ を約3秒間タッチし続ける

- 「ピー」と鳴り、「88 FF」と表示し、設定完了

再度有効にしたい

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、「88 0n」と表示し、設定完了

お知らせ

- 購入時は、槽洗浄お知らせ機能が有効になっています。
- 購入時は40回の運転でお知らせするように設定されています。「お手入れ」などの設定状況によりお知らせのタイミングが変わります。
- 「槽洗浄」コースを運転しなくても、点滅が始まってから3回程度運転を行うと運転回数がリセットされます。

ふたロック／チャイルドロック

ふたロック

運転中と「チャイルドロック」設定時は、上ぶたがロックされます。

- **点灯中**
  上ぶたはロックされ開きません。
- **点滅中**
  ロック動作開始～完了までの間、または解除中です。
- **消灯中**
  上ぶたを開けることができます。

ふたロック中に 上ぶたを開けたい

運 転 中

1 スタート 一時停止 **をタッチする**

2 **「ピピッ」と鳴り、🔓が消灯後開ける**

上ぶたが開くまでの時間

- 洗濯・脱水槽が回転しているとき
  30～45秒

電源が入っていないとき

1 入 電源 **電源を入れる**

2 **🔓が消灯後開ける**

- 運転中に停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、ロックされたままになります。

- 00 00 が点滅したとき：ふたロック解除中です。点滅中は何も受け付けません。表示が消えるまでお待ちください。
- 00 88 が点灯したとき：チャイルドロックが設定されています。設定を解除してください。

チャイルドロック

子供の安全のため、運転停止中や電源が「切」のときも、上ぶたが開かないようにすることができます。

チャイルドロックを設定したい

1 **電源「入」の状態で、** コース **を約5秒間タッチし続ける**

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了



お知らせ

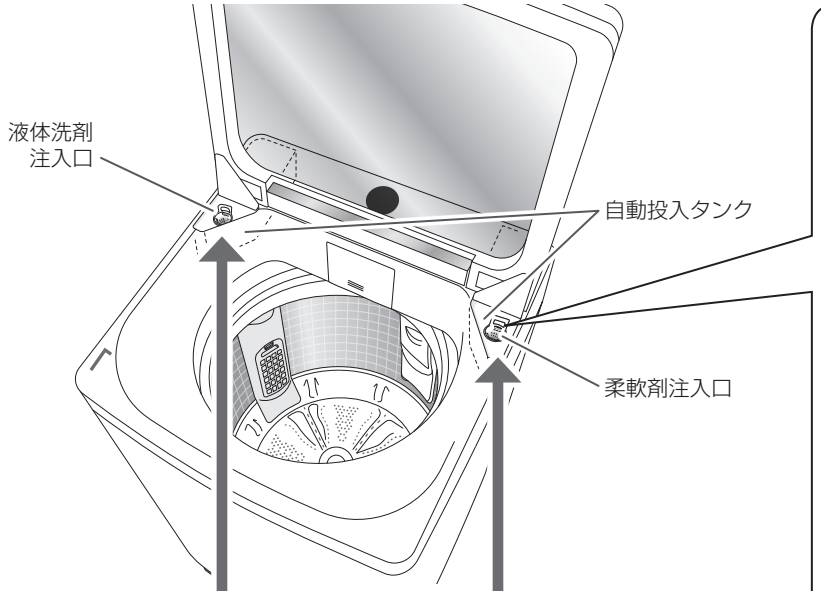
- 電源を切っても解除するまで開けられません。
- 電源「入」の状態であれば、いつでも設定／解除できます。
- チャイルドロック設定中は、運転スタート前や一時停止中、「00 88」を表示します。

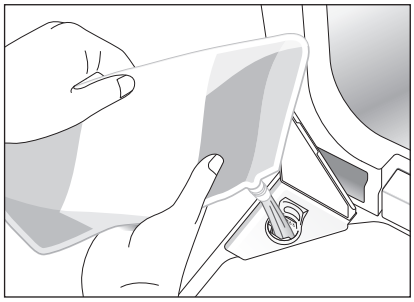
洗剤・柔軟剤の使いかた《自動投入》

洗濯のたびに液体洗剤・柔軟剤を衣類の量に応じて調整し自動で投入します。



初めて自動投入を使うときや、液体洗剤・柔軟剤の種類を変えるときは、自動投入基準量を設定してください。







フィルター

MAX（文字）の下端を超えないように入れてください。

- こぼれたときはやわらかい布ですぐに拭き取ってください。
- 入れ間違いや異物の混入に注意してください。
- **フィルターは、「MAX」の文字が正面に見える向きに差し込んでください。**



正面

液体洗剤

容量：約800mL

- 液体洗剤以外は入れないでください。

柔軟剤

容量：約780mL

- 液体柔軟剤以外は入れないでください。

自動投入で使えない洗剤類➡P20

洗剤・柔軟剤補充のお知らせ

自動投入タンク内の残量が少なくなったら、点滅表示とブザーでお知らせします。運転終了後20分間表示します。下の表示が出たら早めに補充してください。**補充した後、電源を「切／入」すると、お知らせ表示が消灯します。**



液体洗剤が少なくなったとき



柔軟剤が少なくなったとき

- 点滅した状態で運転を続けると、汚れが落ちにくくなったり、再汚染などの原因になります。

お願い

- 残量が少ない状態で放置しないでください。（洗剤・柔軟剤が固まって、経路に詰まる原因）
- フィルターは必ず取り付けてください。取り付けないと、異物が混入し経路が詰まるおそれがあります。
- 固まったり、分離した洗剤や柔軟剤は入れないでください。
- 次のような場合、自動投入タンク・経路のお手入れをしてください。➡P43
  - 2～3カ月ごとが目安
  - 1カ月以上自動投入を使わなかったとき
  - 洗剤・柔軟剤を間違って入れたとき
  - 残量が少ない状態で1週間以上補充しなかったとき
  - タンク内の洗剤・柔軟剤がゼリー状になったとき
- 投入する洗剤や柔軟剤の種類を変えるときは➡P39
- 漂白剤を使うときは、洗濯のたびに以下の場所に入れてください。➡P18
  酸素系液体漂白剤：手動液体洗剤投入容器
  塩素系液体漂白剤：洗剤・漂白剤投入口

お知らせ

- 洗いの給水が始まってから水量を手動で変更した場合、変更水量は洗剤の自動投入量に反映されません。
  また、洗い中に水量を変更した場合も自動では追加投入しません。水量を増やした場合は、洗剤を手動で追加投入してください。
  柔軟剤の自動投入量は、洗い時に変更した水量が反映されます。
- 「ジェルボール」「おしゃれ着」コースは、洗剤の自動投入をしません。



お知らせ
- 液体洗剤・柔軟剤はそれぞれ設定してください。
- 購入時は、自動投入しない設定になっています。

自動投入基準量を設定する

初期は10mLに設定されています。変更する場合のみ以下の設定をしてください。

液体洗剤

1 入 電源 を押し、電源を入れる

2 洗剤 を3秒以上タッチする
- 「ピー」と鳴り表示部に投入量が点滅します。

柔軟剤

2 柔軟剤 を3秒以上タッチする
- 「ピー」と鳴り表示部に投入量が点滅します。

3 量を減らす場合は 洗剤 (-1mL)、量を増やす場合は 柔軟剤 (+1mL)を繰り返しタッチし、水30Lに対する使用量を設定する
- 3～30mL の範囲（1mL 単位）で設定できます。
- 水 30L に対する使用量は洗剤・柔軟剤の容器に記載されています。洗剤類の使用量 ➡P20～21
記載が無い場合は洗剤メーカーにお問い合わせください。

4 スタート 一時停止 をタッチする
- 「ピー」と鳴り設定完了。設定内容を記憶します。

自動投入を設定する・変更する

設定完了すると運転が始まりますので、あらかじめ自動投入タンク内に液体洗剤・柔軟剤を入れてから、以下の設定をしてください。（購入時は自動投入しない設定になっています。）

液体洗剤

1 入 電源 を押して電源を入れ、コース コースを選ぶ

2 洗剤 をタッチして液体洗剤の自動投入を設定する
- タッチするごとに表示が切替ります。

多め 少なめ	自動投入しない(購入時)
多め 少なめ	自動投入する(洗剤量：標準)
多め 少なめ	自動投入する(洗剤量：多め)
多め 少なめ	自動投入する(洗剤量：少なめ)

自動投入をやめたいときは消灯(購入時)に設定してください。

柔軟剤

2 柔軟剤 をタッチして柔軟剤の自動投入を設定する
- タッチするごとに表示が切替ります。

多め 少なめ	自動投入しない(購入時)
多め 少なめ	自動投入する(柔軟剤量：標準)
多め 少なめ	自動投入する(柔軟剤量：多め)
多め 少なめ	自動投入する(柔軟剤量：少なめ)

自動投入をやめたいときは消灯(購入時)に設定してください。

3 スタート 一時停止 をタッチする
- 運転開始 1 分後に設定内容を記憶します。

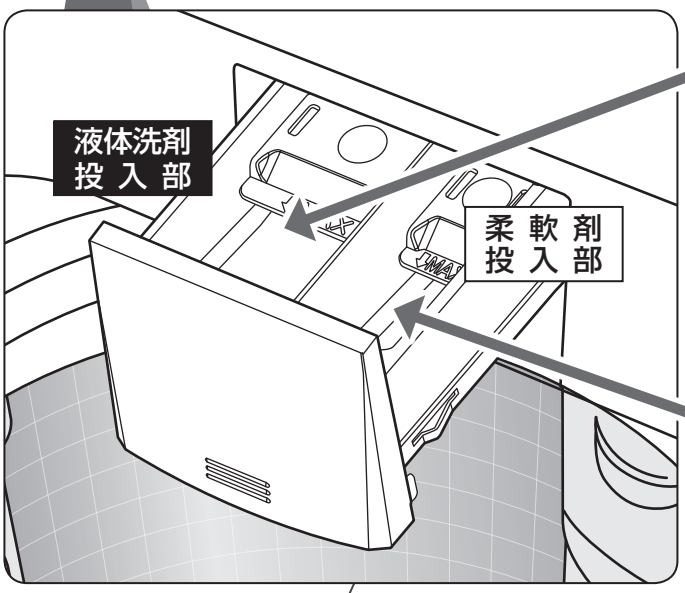
洗剤・柔軟剤の使いかた《手動投入》



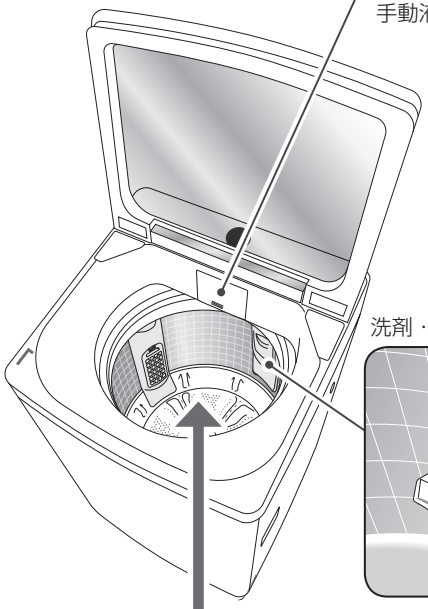
自動投入しない設定になっていることを確認してください。

- 右図の表示が消灯で自動投入しない設定です。

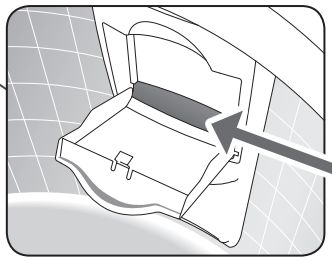




手動液体洗剤投入容器

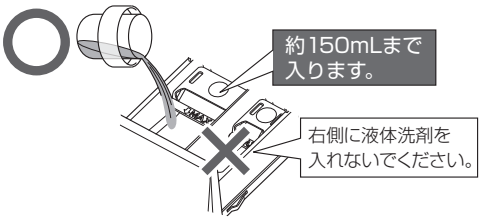


洗剤・漂白剤投入口（2カ所）



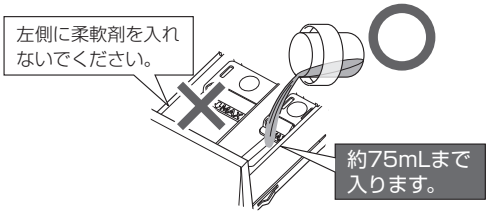
液体洗剤・酸素系液体漂白剤

「液体洗剤投入部」に入れる



柔軟剤

「柔軟剤投入部」に入れる



- 洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。

お願い

- 流れにくい場合は水でうすめてください。
- 柔軟剤は、入れすぎないでください。
（衣類の黒ずみの原因）
- 柔軟剤を入れた後、12時間以上放置しないでください。
柔軟剤が固まる場合があります。

塩素系液体漂白剤

3倍の量の水でうすめ「洗剤・漂白剤投入口」に入れる



- 塩素系液体漂白剤を直接、「洗濯・脱水槽」内に入れたり、洗濯物にかけたりしないでください。
（変色・布破れの原因）
- 予約時は塩素系漂白剤を使わないでください。

粉末合成洗剤・粉末漂白剤 ジェルボール型洗剤

「洗濯・脱水槽」内に直接入れる

予約時の洗剤類の入れかた ➡P19

ご注意

- 重曹は使わないでください。(故障の原因)
- プラスチック部分に、洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部品が割れるおそれがあります。

お願い

- ビーズタイプの仕上げ剤は「洗濯・脱水槽」内に直接入れてください。
- 「手動液体洗剤投入容器」に粉末合成洗剤・ジェルボール型洗剤・粉末漂白剤・塩素系漂白剤を入れないでください。
- 「洗剤・漂白剤投入口」にジェルボール型洗剤を入れないでください。
- 使用量は容器の記載に従ってください。



お知らせ

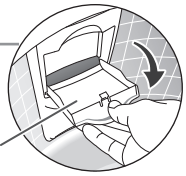
- 「洗剤・漂白剤投入口」は2カ所あります。洗剤・漂白剤は入れやすい方に入れてください。

洗剤・漂白剤投入口の使いかた

投入口ふたの開けかた・閉めかた

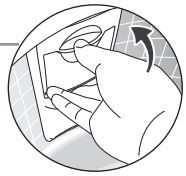
開けかた

投入口ふたの凹部に
親指をかけ手前に引く



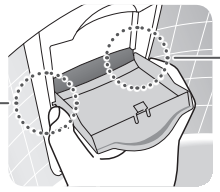
閉めかた

洗剤などを投入後、「カチッ」とツメのはまる音がするまで確実に押し込む

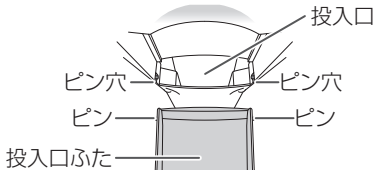


投入口ふたがはずれたとき

1 投入口ふたの右側のピンをピン穴に差し込む



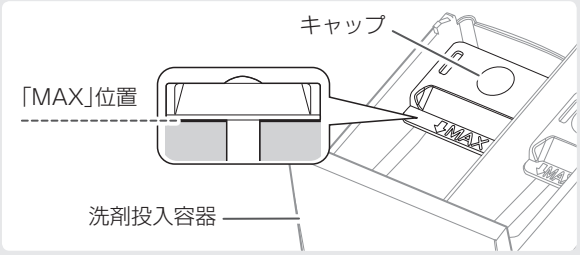
2 左側のピンをピン穴に差し込む



ご注意
- 投入口ふたが開いた状態で運転すると、洗濯物がひっかかり破損するおそれがあります。

洗剤投入容器のポイント

- キャップの「MAX」の位置以上入れないでください。サイフォン現象により洗剤・柔軟剤がすぐに流れ出ることがあります。
- 液体洗剤と液体漂白剤を同時に投入する場合でも、「MAX」の位置を超えて入れないでください。入りきらないときは、「洗剤・漂白剤投入口」に入れてください。
- 洗剤投入容器は確実に閉めてください。（水もれの原因）
- サイフォン現象でわずかに水が残ることがありますが、異常ではありません。

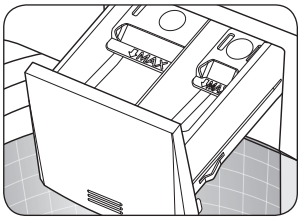


- 運転終了後、給水経路内の残水が容器内に入ることがあります。
- 容器内に残水がある場合は、水分を拭き取るなどしてから洗剤類を入れてください。

予約時の洗剤類の入れかた

液体洗剤・柔軟剤

洗剤自動投入機能を使う ➡P16~17



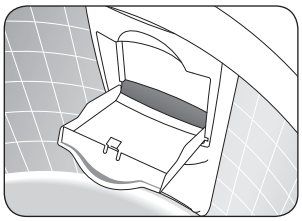
手動液体洗剤投入容器

または、「手動液体洗剤投入容器」に入れる ➡P18

酸素系 液体漂白剤

「手動液体洗剤投入容器」に入れる ➡P18

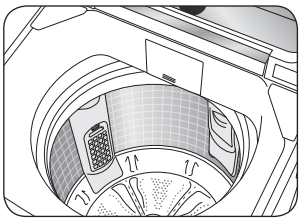
粉末合成洗剤・粉末漂白剤



「洗剤・漂白剤投入口」に入れる ➡P18

- 投入口がぬれている場合は、乾いた布で拭いてから入れてください。（粉末合成洗剤・漂白剤が残る原因）

ジェルボール型洗剤



「洗濯・脱水槽」内に直接入れる

- ジェルボール型洗剤は水分がつかないようにしてください。

お願い
- 予約時は、塩素系漂白剤は使わないでください。
- 予約時は、粉石けん・液体石けんは使わないでください。（固まるおそれ）

石けんの入れかた（粉石けん・液体石けん）

洗濯・脱水槽内で溶かす場合

1 水栓を開き、入 電源 電源を入れる

2 コース「標準」を選び、
水量「22L」・洗い「3分」を設定する

3 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 スタートする

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 一時停止し、
上ぶたを開け、石けんを
「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

- 運転終了後、電源を入れ直し、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。

溶けにくい場合

1 バケツなどに約30℃の
ぬるま湯を約5L入れる



2 十分かきまわしながら、
石けんを少しずつ入れる

3 固まったり、粒が残ったりしないように
よくかき混ぜ、「洗濯・脱水槽」内に入れる

- 水栓を開き、電源を入れ、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。

お願い

- 石けんは「《自動投入》液体洗剤注入口」、「《自動投入》柔軟剤注入口」、「洗剤・漂白剤投入口」には入れないでください。
- 使用量は、洗剤類の使用量➡P21や石けんの容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎは十分に行ってください。
- 入れすぎたり低温の水では、完全に溶けずに石けんが洗濯物に残ることがあります。また、排水ホースや洗濯・脱水槽内に残った石けんが浮き上がり洗濯物を汚すことがあります。そのようなときは、洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-2）を使って「槽洗浄」12時間コース➡P45 でお手入れしてください。
- **予約時は、粉石けん・液体石けんを使わないでください。**
（固まるおそれ）

洗剤類の使用量


洗剤の容器の表示を
ご確認ください

水　量	洗濯量【乾燥布】（上限）	洗剤の目安※	液 アタックZERO ナノックス
			← 10mL
自動投入対応の洗剤・柔軟剤			○
68L	10kg	1.0 約1.0杯	23mL
55L	10kg	0.8 約0.8杯	18mL
50L	5kg	0.8 約0.8杯	17mL
40L	2kg	0.6 約0.6杯	13mL
22L	0.5kg	0.3 約0.3杯	7mL

■自動投入で使えない洗剤類

・おしゃれ着用液体中性洗剤
・粉末合成洗剤　・液体石けん
・水30Lに対する使用量が30mLを超えるもの
・ジェルボール型洗剤　・漂白剤
・粉石けん　・ビーズタイプの仕上げ剤
・洗濯のり　・重曹　など
（重曹は、手動投入でも使えません。）

【目安】

2023年4月現在

合成洗剤				石けん		柔軟剤				酸素系液体漂白剤	
液体	おしゃれ着用液体中性洗剤	ジェルボール型	粉末	粉石けん	液体石けん	柔軟剤				酸素系液体漂白剤	
水30Lに対する使用量（自動投入基準量の目安）											
25mL	30mL	40mL	1粒	18g	30g	36g	50mL	7mL	10mL	16mL	20mL	20mL	40mL
○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—
トップクリアリキッド アタック ニュービーズ	ボールド アリエール	アクロン エマール	ボールドジェルボール アリエールジェルボール	アタック高活性バイオパワー	部屋干しトップ	そよ風	お肌のためのせっけん	ふんわりソフラン	フレアフレグランス ソフランアロマリッチ ハミングファイン	レノア	ハミング	ワイドハイターEXパワー ブライトSTRONG	ワイドハイター 手間なしブライト
57mL	68mL	91mL	1粒	41g	68g	82g	113mL	16mL	23mL	36mL	45mL	45mL	91mL
46mL	55mL	73mL		33g	55g	66g	91mL	13mL	18mL	29mL	37mL	37mL	73mL
42mL	50mL	67mL		30g	50g	60g	83mL	12mL	17mL	27mL	33mL	33mL	67mL
33mL	40mL	53mL		24g	40g	48g	66mL	9mL	13mL	21mL	27mL	27mL	53mL
18mL	22mL	29mL		13g	22g	26g	36mL	5mL	7mL	12mL	15mL	15mL	29mL

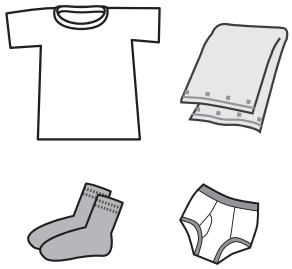
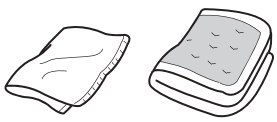
※洗剤の目安：液体洗剤（水65Lに対しキャップ1杯のもの）のキャップを基準にしています。

- 上表は目安です。洗剤・柔軟剤の種類によっては使用量の違いがありますので容器の表示をご確認ください。
- **「おいそぎ」コース**での洗剤の使用量は、上表の7割程度が適当です。洗剤量の目安表示は7割の量で表示します。
- **「おしゃれ着」コース**での洗剤の使用量は、洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤によりキャップまたはスプーン1杯の洗剤量が異なります。洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- **「ガンコ汚れ」コース**は、上表の1.5倍の洗剤量をお使いください。洗剤量の目安表示は1.5倍の量で表示しています。
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  ・汚れが多い場合は洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤量を控えめにしてください。
  ・洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり洗濯物に残ることがあります。

  軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです
- 洗濯量はJIS（日本産業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗える量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節してください。
- 自動投入基準量は3～30mLの範囲で設定できます。
- 上表に記載のない使用量の洗剤については、洗剤の容器の表示に従ってください。
- 使用量が水30Lに対し20mLを超える柔軟剤では、洗剤投入容器の容量を超える場合があります。

コースの選びかた

洗濯物の種類や汚れにあわせてコースを選んでください。

洗濯物の種類	こんなときに	コース
普段の衣類 Tシャツ・タオル類・パジャマ・くつ下・ワイシャツ・下着・ズボンなど 	綿素材の下着など、普段着を洗濯したいときに	標準 ➡P26
	お好みの運転内容を記憶させたいときに	自分流 ➡P27
	弱 40 ネット使用 / 弱 30 / 40 / 30 表示のある衣類を布傷みをおさえてやさしく洗濯したいときに	衣類ケア ➡P26
	軽い汚れの衣類を手早く洗濯したいときに	おいそぎ ➡P26
	ひどい汚れや厚手の衣類をきれいに洗濯したいときに	念入り ➡P26
	ジェルボール型洗剤を使用するときに ジェルボール型洗剤の防臭・香り付け効果を高めます。	ジェルボール ➡P26
	ガンコな汚れをたっぷりの水できれいに洗濯したいときに	ガンコ汚れ ➡P26
デリケートな衣類 セーター・カーディガン・ランジェリー類・スカート・ブラウス・学生服・スラックスなど 	手洗イ 30 表示のあるデリケートな衣類をやさしく洗濯したいときに	おしゃれ着 ➡P28
毛布・ふとん・シーツ類など 	手洗イ 30 表示のある毛布や掛けふとん、シーツなどの大物を洗濯したいときに	ふとん・毛布 ➡P30
洗濯・脱水槽のお手入れ 洗濯物は入れないでください	洗剤カスや黒カビを予防したいときに「槽」と「槽洗浄」が点滅したときに	槽洗浄3時間 ➡P44
	洗剤カスや黒カビの発生が気になるときに	槽洗浄12時間 ➡P44

洗濯・脱水槽内に黒カビが発生すると洗濯物に茶かっ色、または、黒い汚れが付くことがあります。必要に応じて、槽洗浄コースでお手入れしてください。

洗濯容量	洗剤自動投入 ➡P16~17	柔軟剤自動投入 ➡P16~17	強水流 ➡P40	風呂水 ➡P36	やわらか脱水 ➡P13	風乾燥 ➡P32	予約 ➡P38	お手入れ ➡P14	
								カビケア	槽乾燥
10kg以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	—	○	○	—	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○ 洗いのみ	○	○	○	—	—
4kg以下	○	○	○ 変更できない	○	○	○	○	○	○
1.5kg以下	—	○	—	○	—	—	—	—	—
毛布 4.5kg以下 掛けふとん 1.8kg以下	○	○	—	○	○	—	○	○	○
洗濯物は入れない	—	—	—	—	—	○ 変更できない	—	—	—
	—	—	—	—	—	○ 変更できない	—	—	—

コース内容と所要時間【目安】

		自動設定の内容				
コース	容量(上限)	水量	洗い(約)	すすぎ	脱水(約)	所要時間(約)
標準 ➡P26	10kg	22～55L	7～9分	2回〔シャワー+ため〕	6～7分	28～34分
自分流 ➡P27			設定内容による			
衣類ケア ➡P26		40～68L	7～9分	2回〔シャワー+ため〕	5～6分（やわらか）	28～38分
おいそぎ ➡P26		22～68L	5～7分	注水2回〔シャワー+注水〕	3分	21～30分
ジェルボール ➡P26		22～55L	7～9分	1回〔シャワー3回〕	6～7分	25～34分
ガンコ汚れ ➡P26	4kg	50L	15分	3回〔ため3回〕	5分	56分
念入り ➡P26	10kg	22～68L	10～12分	注水2回	6～7分	41～52分
ふとん・毛布 ➡P30	毛　　布：4.5kg 掛けふとん：1.8kg	68L	12分	注水2回	6分	56分
おしゃれ着 ➡P28	1.5kg	50L	4分	注水2回	1分	28分
槽洗浄3時間 ➡P44	——	表示しない	つけおき2時間＋洗い5分	注水2回	風乾燥30分	3時間10分
槽洗浄12時間 ➡P44			つけおき11時間＋洗い5分			12時間



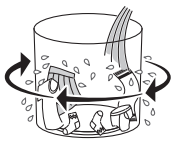
お知らせ

- 所要時間は、給水量が毎分15Lのときの目安です。水道水圧・排水条件などにより変わります。
- 「ほぐし仕上げ」を行う場合は、所要時間が1分長くなります。➡P13
- 「ふとん・毛布」「おしゃれ着」コースでの注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。

お好み設定できる内容

<table>
<tr><th>水量</th><th>洗い</th><th>すすぎ</th><th>脱水</th><th>風乾燥</th></tr>
<tr><td>22L
40L
50L
55L
68L</td><td rowspan="5">1～15分
消灯〔なし〕</td><td rowspan="2">1回〔 ため 1回〕
注水 1回〔 注水 1回〕
2回〔 シャワー 1回＋ ため 1回〕
注水 2回〔 シャワー 1回＋ 注水 1回〕
3回〔 ため 3回〕
注水 3回〔 注水 3回〕
消灯〔なし〕</td><td rowspan="4">1～9分
消灯〔なし〕
やわらか 3分
5分</td><td>30分
60分
120分
210分
消灯〔なし〕</td></tr>
<tr><td>40L
50L
55L
68L</td><td>設定できない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">22L
40L
50L
55L
68L</td><td>1回〔 シャワー 3回〕
消灯〔なし〕</td><td rowspan="2">30分
60分
120分
210分
消灯〔なし〕</td></tr>
<tr><td>3回〔 ため 3回〕
消灯〔なし〕</td></tr>
<tr><td>50L
55L
68L</td><td rowspan="2">1回〔 ため 1回〕
注水 1回〔 注水 1回〕
2回〔 ため 2回〕
注水 2回〔 注水 2回〕
3回〔 ため 3回〕
注水 3回〔 注水 3回〕
消灯〔なし〕</td><td rowspan="2">設定できない</td></tr>
<tr><td>40L
50L
55L
68L</td><td>1～3分
消灯〔なし〕</td></tr>
<tr><td colspan="5">槽洗浄は、コース内容を変更できない</td></tr>
</table>

すすぎの種類 排水・脱水してからすすぎを始めます。



● シャワーすすぎ
洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぎます。



● ためすすぎ
水をためてすすぎます。



● 注水すすぎ
注水しながらすすぎます。

洗濯する

標準コース　衣類ケアコース　おいそぎコース
念入りコース　ジェルボールコース　ガンコ汚れコース



《ガンコ汚れコース》

- 「ガンコ汚れ」コースは、コースを選ぶと下のように表示します。



洗濯容量	10kg以下
	ガンコ汚れコースのみ 4kg以下

お知らせ

- 「衣類ケア」コース
  ・「風乾燥」「強水流」は設定できません。
- 「おいそぎ」コース
  ・「お手入れ」は設定できません。
- 「ジェルボール」コース
  ・洗剤の自動投入はしません。
  ・「お手入れ」は設定できません。
  ・洗いのみ「風呂水」が使えます。
- 「ガンコ汚れ」コース
  ・洗いは「強水流」に設定されています。
- 手順4で1分間の待機時間に上ぶたを閉めると給水が始まります。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 入 電源 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

必要に応じ、風呂水　風乾燥　お手入れ を設定してください。

4 スタート 一時停止 スタートする

水のない状態で
パルセーターが回転し、
布量検知を開始します。

➡P12

検知中表示
検知後は洗濯行程内容と、水量・洗剤量・残時間を順に表示します。



- 「ガンコ汚れ」コースは布量検知しません。
- **自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。**

手動で投入する場合 ➡P18~19

布量検知後の待機中(約1分間)に入れてください。

- 必要に応じ漂白剤を入れてください。➡P18~19

5 上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

スタートして約1分後に前回の設定は消え、新しい設定を記憶します。



洗濯容量	10kg以下

購入時の設定

洗　い	9分
すすぎ	2回〔シャワー＋ため〕
脱　水	5分

お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 前回の風呂水の設定内容は「風呂水」をタッチすると表示します。
- 風乾燥を記憶しているときは、「脱水」の設定はできません。「脱水」を設定する場合は、「風乾燥」の表示を消灯させてから「脱水」を設定してください。
- 手順5で1分間の待機時間中に上ぶたを閉めると給水が始まります。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 入 電源 電源を入れる

3 コース 「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ**5**へ

4 洗い 強水流(4秒押し) すすぎ 脱水 をタッチし、洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

5 スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量・洗剤量を表示します。
  布量検知 ➡P12
- **自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。**

手動で投入する場合 ➡P18~19

布量検知後の待機中(約1分間)に入れてください。

- 必要に応じ漂白剤を入れてください。 ➡P18~19

6 上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

デリケートな衣類を洗濯する

おしゃれ着コース

洗濯できるもの

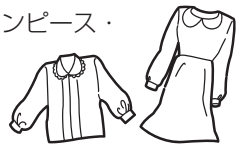
手洗イ 30　左の取扱い表示があるデリケートな衣類

※これらの取扱い表示があっても洗えないものがあります。➡P10

- ウール・カシミヤ・アンゴラのセーター・カーディガンなど



- 絹・麻のワンピース・ブラウス・シャツなど



- 学生服・セーラー服・スラックス・スカート・ジャンパー・カーテンなど



洗濯前のチェック

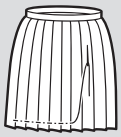
初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

- 洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。
- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。



毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

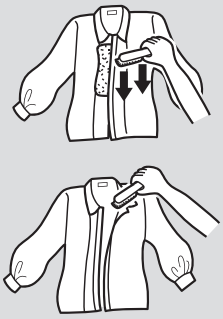
- 糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて洗剤液を付け、一定方向にブラッシングしてください。
- ポケットまわり・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液を付けブラシなどで軽くたたいて落としてください。



カーテンなどの大物以外は、洗い時間を 6 分以内にする

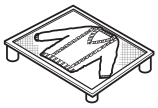
- カーテンのフックは、必ずはずしてください。
- 自動設定は、4分になっています。（縮みをおさえるため）

干しかた

- 風通しの良い日陰に干してください。

ウール・カシミヤ・アンゴラなどのセーター

形を整え、裏返して平干し



絹・麻などのワンピース・ブラウス

ハンガー干し



スカート

型を整えてハンガー干し

（伸びやすいものは平干し）



スラックス

折り目を合わせてハンガー干し



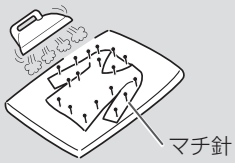
縮んだとき

1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打つ

2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかける

3 乾くまでそのままにしておく

- 衣類購入時に型紙をとっておくと便利です。



アイロン仕上げ

- 衣類の取扱い表示に従ってください。
- てかりの出やすいスカート・スラックスや刺しゅう・ビーズの付いたものは当て布をしてください。

アイロンの適正温度	綿・麻	ポリエステル・毛・絹	アクリル系・ナイロン
	高 180～210℃	中 140～160℃	低 80～120℃
	～200℃	～150℃	～110℃ スチームなし

当て布をしてアイロンがけをしてください。　中　付記用語：あて布使用

アイロンがけができません。



洗濯容量	1.5kg以下

■洗える量の目安

水量	洗える量
68L	1.5kg以下
55L	
50L 自動設定	0.8kg以下
40L	0.2kg以下

■重さの目安



お願い

- 運転終了後、すぐに洗濯物を取り出し、陰干ししてください。長時間放置すると、シワや縮みの原因になります。

お知らせ

- 洗剤の自動投入はしません。手順4で入れてください
- 水量は50Lに自動設定されます。お好みで変更できますが、布傷みを防ぐため22Lは設定できません。
- 「やわらか脱水」「風乾燥」「予約」「強水流」「お手入れ」は設定できません。
- 給水後、洗濯物が浮き上がるときは、一時停止をして上から押さえてください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 入 電源 電源を入れる

3 コース 「おしゃれ着」を選ぶ

必要に応じ、風呂水 を設定してください。

4 おしゃれ着用液体中性洗剤を「手動液体洗剤投入容器」に入れる

- 自動投入を設定している場合、柔軟剤は自動で投入されます。

柔軟剤を手動で投入する場合 ➡P18~19

手動液体洗剤投入容器（柔軟剤投入部）に入れてください。

5 スタート 一時停止 スタートする

6 上ぶたを閉める

- 洗濯・脱水槽内の水温を30℃以下にしてください。

（上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。）

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

毛布・ふとんを洗濯する

ふとん・毛布コース

必ず、大物洗い用洗濯ネット(CN-3)**をご使用ください。**別売 ➡P61
使用しないと洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散ったりするおそれがあります。

洗濯できるもの



左の取扱い表示がある毛布・ふとん

毛 布

洗濯容量　4.5kg 以下

- **アクリルまたはポリエステル100%の毛布**
  ダブルサイズ(180cm×230cm)以下　1枚まで
  シングルサイズ(140cm×200cm)以下 2枚まで
- **綿毛布**
  シングルサイズ(140cm×200cm)以下 3枚まで

ふとん

洗濯容量　1.8kg 以下

- **中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん**
  中わた：1kg以下
  大きさ：180cm×210cm以下
- **洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん**
  大きさ：150cm×210cm以下

洗濯できないもの

毛 布

- **純毛の毛布**
- **電気毛布**
  電気毛布は洗えるものと洗えないものがあります。
  電気毛布の取扱説明書に従ってください。
- **ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布**
  洗濯すると毛倒れするおそれがあります。

ふとん

- **取扱い表示のないもの**
- **側生地がタオル地のもの(毛足1cm以上)**
  洗濯すると毛倒れするおそれがあります。
- **中わたがポリエステル、羽毛以外のもの**

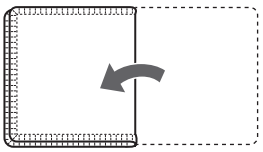


お知らせ
- 厚手やサイズの大きいタオルケットも洗うことができます。
- 「風乾燥」「強水流」は設定できません。

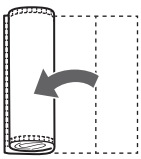
洗濯前の準備　大物洗い用洗濯ネットに入れてください

シングルサイズの場合

1 長い方を
2つ折りにする



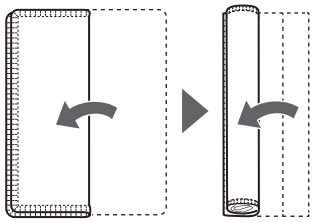
2 同じ方向に
3つ折りにする



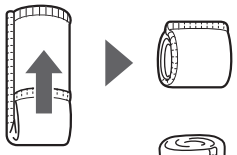
ダブルサイズの場合

1 短い方を
2つ折りにする

2 同じ方向に
3つ折りにする



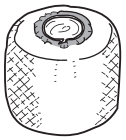
3 巻く



4 フチのある方を下にして
洗濯ネットに入れる



5 ひもを固くリボン結びにする
- リボン部分は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込んでください。



お願い

- ゴミや糸くずは、取り除いておいてください。
- 毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。



■設定できる水量

68L 自動設定	○
55L	○
50L	○
40L	×
22L	×

お願い

- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。入れすぎると溶けずに残ることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。



洗濯が終わったら

取り出すときは

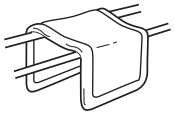
洗濯ネットのひもをほどき、毛布・掛けふとんの中心部を持って引き出す。



乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する。

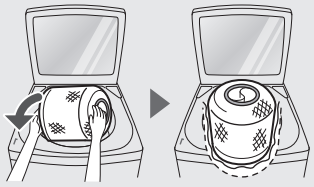
- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。



- 綿毛布・掛けふとんの乾燥は、その取扱い表示に従ってください。

1 水栓を開き、洗濯ネットに入れた毛布・掛けふとんを入れる

- 入れにくいときは…
  横向きに入れ、洗濯・脱水槽内で、洗濯ネットの口側が上になるように起こす。



2 入 電源 電源を入れる

3 コース「ふとん・毛布」を選ぶ

必要に応じ、風呂水 お手入れ を設定してください。

4 上ぶたを閉める

- **自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。**

手動で投入する場合は以下のように入れ、上ぶたを閉める

液体洗剤	ネットに入った毛布・ふとん全体に行き渡らせるため、洗濯・脱水槽に沿わせて入れてください。
粉末合成洗剤	溶け残りをなくすため、あらかじめ約5Lのぬるま湯（約30℃）でよく溶かしてください。溶かさずに入れると白く残ることがあります。
柔軟剤	手動液体洗剤投入容器（柔軟剤投入部）に入れてください。➡P18～19

- 必要に応じ、漂白剤を入れてください。➡P18～19

5 スタート 一時停止 スタートする

（上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。）

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

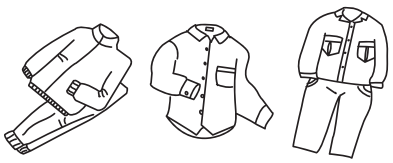
風乾燥をする

洗濯・脱水槽の高速回転で大量の風をとり込み、ヒーターを使わない省エネ方式で洗濯物の水分を飛ばします。少量の化繊混紡衣類の乾燥や、洗濯物の干し時間の短縮に使用します。

- 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。
- 乾きムラや乾燥不足があるときは、その程度に応じて再度運転してください。
- ヒーターを使わないため、洗濯物が冷たく、乾いていないように感じる場合があります。

風乾燥できるもの

- トレーニングウェア・ワイシャツ・作業服など



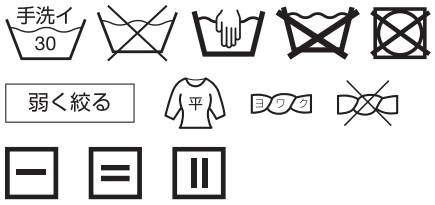
ほぼ乾燥できる容量	化繊混紡3.5kg以下
干し時間を短縮できる容量	6kg以下

ご注意

- 洗濯物の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、洗濯物の飛び出しによる破れの原因になります。
- **フリースなど厚手の衣類を風乾燥するときは、容量を2kg以下にしてください。**
  運転中に飛び出し、破れる原因になります。

風乾燥できないもの

以下の取扱い表示があるもの



- **色落ちしやすい衣類**
- **ウールの衣類**
- **シワが気になる衣類**
  綿100%シャツなど
- **型くずれしやすい衣類**
  肩パット入りなど
- **防水性のマット・シートや衣類など** ➡P6
- **毛布・掛けふとん・シーツ**

■風乾燥時間と洗濯物(種類・容量)の目安

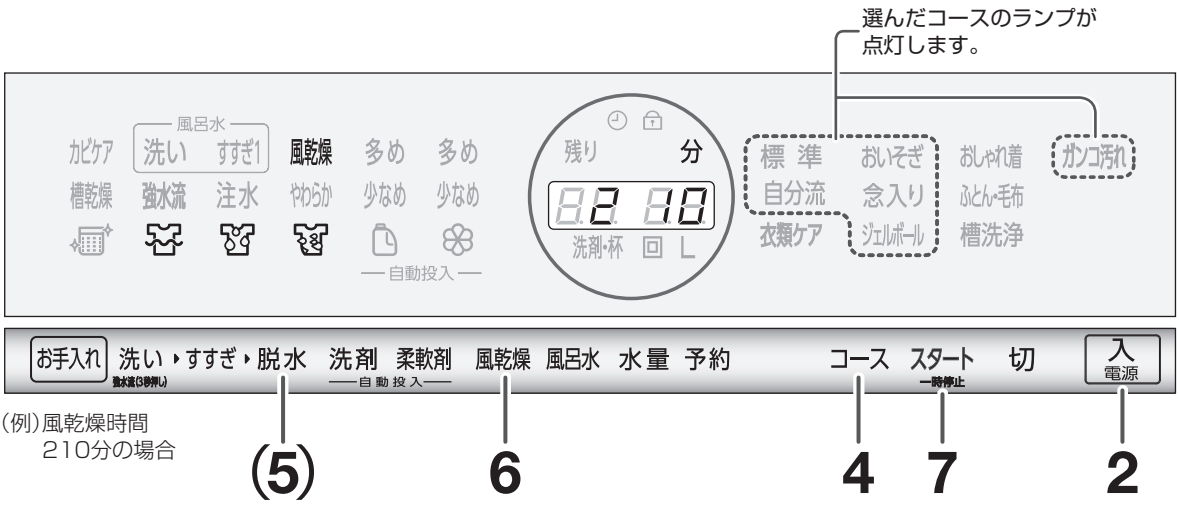
風乾燥時間	化繊混紡・化繊の乾燥に	干し時間の短縮に
210分	化繊混紡の衣類 3.5kg以下	綿の洗濯物が多いときなどに（タオルなど）
120分	化繊の衣類 1kg以下	化繊混紡の洗濯物が多いときなどに（ワイシャツなど）
60分	―	化繊の洗濯物が多いときなどに（ジャージなど）
30分	―	

6kg以下



お知らせ

- 洗濯物をほぐすため定期的にかくはん運転をします。
- スタートして約1分後、風乾燥時間を記憶します。電源を入れ、「風乾燥」をタッチすると前回使用した時間が点灯します。
- 「自分流」コースでは「風乾燥」を記憶します。



洗濯コース＋風乾燥

1 水栓を開く

2 入 電源 電源を入れる

3 洗濯物を入れる

4 コース 使用するコースを選ぶ

- 「衣類ケア」「おしゃれ着」「ふとん・毛布」コースは設定できません。

6 風乾燥 で時間を選ぶ

30分(初期) → 60分 → 120分 → 210分 → なし

(初期は、30分が設定されます)

7 スタート 一時停止 スタートする

8

- 自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。

手動で投入する場合 ➡P18～19

待機中(約１分間)に入れてください。

上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。)

風乾燥のみ

3 乾かしたい洗濯物を入れる

- 洗濯物をほぐして片寄らないように入れてください。振動が少なく乾きがよくなります。

4 上ぶたを閉め、コース「標準」を選ぶ

5 脱水 をタッチする

ブザーが鳴ったら、運転終了

9 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除する

コースの運転内容を変更する【お好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、
時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。

お好み設定できる内容 ➡P25

洗い・すすぎ・脱水の個別運転

洗い　すすぎ　脱水　ボタンをタッチして、時間や回数を設定してください。

洗い　すすぎ　脱水　ボタンをタッチして、時間や回数の表示を消灯させてください。

こんなときは	運転内容	標準・衣類ケア おいそぎ・念入り ジェルボール	自分流・おしゃれ着 ふとん･毛布・ガンコ汚れ
洗いだけしたいとき	**洗いのみ** 水は残ります。	洗い	洗い　すすぎ　脱水
予洗いしたいとき のりづけしたいとき	**洗い→脱水**	洗い　脱水	洗い　すすぎ　脱水
すすぎの水を再利用したいとき 脱水しない方がよいもの すぐ干さないとき	**洗い→すすぎ** 水は残ります。	洗い　すすぎ	洗い　すすぎ　脱水
すすぎだけしたいとき	**すすぎのみ** 排水→脱水から始めます。 水は残ります。	すすぎ	洗い　すすぎ　脱水
すすいで脱水したいとき	**すすぎ→脱水** 排水→脱水から始めます。	すすぎ　脱水	洗い　すすぎ　脱水
脱水だけしたいとき	**脱水のみ** 水があれば排水から始めます。	脱水	洗い　すすぎ　脱水
排水だけしたいとき	**排水のみ**	脱水	洗い　すすぎ　脱水

設定したら、次の操作をして運転終了してください。

スタート 一時停止　スタートし、洗濯・脱水槽の高速回転が始まったら、

切　電源を切る



お願い

- すすぎや脱水から始めるときは、洗濯物の片寄りによる異常振動を防ぐため、洗濯物は均等に入れ、上から手で押さえてください。
- 「03 88」を表示したときは、洗濯物を均等に入れ直してください。

お知らせ

- 変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コース ➡P27 をご利用ください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「おしゃれ着」➡P28~29、「ふとん・毛布」➡P30~31コースは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 入 電源 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

4 洗い 強水流(4秒押し) すすぎ 脱水 をタッチし、洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

5 スタート 一時停止 スタートする

6 上ぶたを閉める

- **自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。**

手動で投入する場合 ➡P18~19

必要に応じて洗剤・柔軟剤を入れ、上ぶたを閉めてください。

（上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。）

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

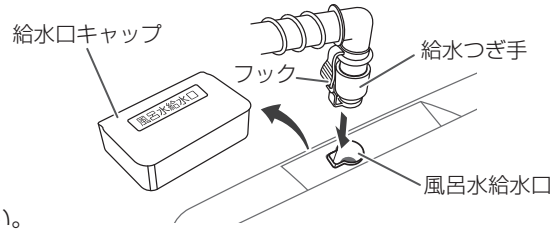
風呂水を使って洗濯する

風呂水ホースの準備

以下の作業は電源「切」の状態で実施してください。

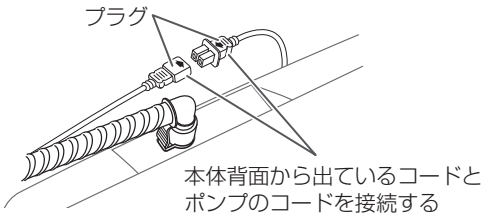
1 **給水口キャップをはずし、給水つぎ手を風呂水給水口に差し込む**

- 給水口キャップはなくさないよう保管してください。
- 給水つぎ手はカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 給水つぎ手を上に持ち上げてはずれないか確認してください。



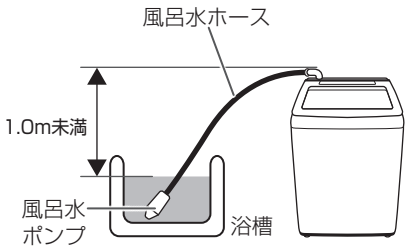
2 **本体背面から出ているコードとポンプのコードを接続する**

- それぞれのプラグの「➡」を合わせてください。



3 **風呂水ポンプを浴槽に沈める**

- 風呂水ホースの最も高い位置から水面までの高さは、1.0m未満にしてください。
- 水位が3cm以下になると、吸い上げません。
- ホース内に水が残っていると、風呂水を吸い上げにくくなる場合があります。必ずホースに水が残っていないことを確認のうえご使用ください。



セット時のご注意

▶高い壁を越えるときは、たるみをなくす

- 吸水できません。



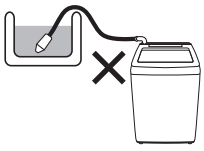
▶巻いたまま使わない

- 吸水できません。



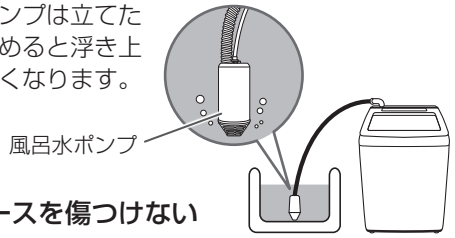
▶本体が浴槽の水面より低い場所では使わない

- サイフォン現象により、水があふれます。



▶風呂水ポンプが浮き上がらないようにする

- 風呂水ポンプは立てた状態で沈めると浮き上がりにくくなります。



▶風呂水ホースを傷つけない

- 吸水できません。
  - ▷引き戸などで、はさまない
  - ▷無理な力をかけたり、引っ張ったり、ふんだりしない
  - ▷コンクリート角やとがった金属物(サッシ窓や浴室ドア)とのこすれに気をつける

風呂水ホースの片付け

1 **浴槽から風呂水ポンプを取り出し、ポンプのコードと本体から出ているコードをはずす**

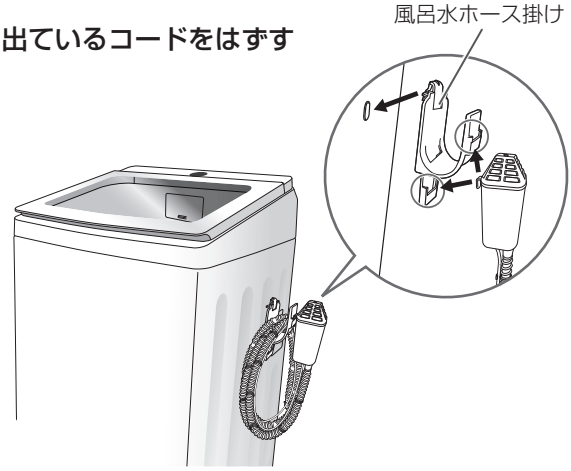
- 洗濯物は洗濯・脱水槽から出しておいてください。
- コードをはずすときは必ずプラグを持ってはずしてください。

2 **本体から給水つぎ手を取りはずし風呂水ホース内の残水を抜く**

- 風呂水ポンプを浴槽に入れたまま、給水つぎ手をはずさないでください。水もれすることがあります。
- 給水つぎ手はフックを押しながら上に引き抜いてください。

3 **風呂水給水口に給水口キャップをする**

4 **風呂水ホース掛けを本体に掛け、右図のように収納する**



風呂水を設定する

- **電源を入れ、 風呂水 をタッチすると前回設定した内容が点灯します**
  「風呂水」はスタートして約１分後に設定内容を記憶します。
- **お好み設定と風呂水設定が異なる場合は、お好み設定の洗濯内容で進行します**
  （例）お好み設定を「洗い」のみ、風呂水設定を「洗い～すすぎ１」にした場合、運転は洗いで終了します。（すすぎは行いません。）

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 水栓は必ず開いてください。運転のはじめに水道水を使用します。

2 入 電源 電源を入れて コース 使用するコースを選ぶ

- 「槽洗浄」コースでは、風呂水設定できません。

3 風呂水 をタッチして「風呂水」の使用行程を設定する

パネル表示	洗 い	すすぎ1
風呂水 洗い すすぎ1	風呂水	水道水
風呂水 洗い すすぎ1	風呂水	風呂水
風呂水 洗い すすぎ1	風呂水は使用しません	

- タッチするごとに表示が切り替わります。
- 「ジェルボール」コースでは、「洗い」のみ設定できます。

「すすぎ1」に風呂水を設定した場合

- シャワーすすぎは、ためすすぎ、または注水すすぎに変わります。
- すすぎが２回以上の場合、２回目以降のすすぎは水道水になります。

4 風呂水ポンプが浴槽の水中に沈んでいることを確認して スタート 一時停止 スタートする

5 上ぶたを閉める（上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。）

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

ご注意

- 付属の風呂水ポンプ以外は接続しないでください。（火災や故障の原因）
- 風呂水が少ない場合は、ポンプの空運転に注意してください。（故障の原因）

お願い

- 風呂水ポンプを沈めてから、運転を行ってください。沈める前にスタートすると、ホース内に空気が入り、吸水できなくなる場合があります。一度電源を切って残水を抜き、風呂水ポンプを沈めてから再度スタートしてください。
- 入浴剤は柔軟剤と反応して衣類にうすい変色をおこすことがあります。入浴剤の注意書を確認してください。変色した場合は、すぐに洗剤を入れて洗濯してください。
- 発泡性のある入浴剤では、ポンプ内部の発泡により吸水できない場合があります。ゼリー・とろみタイプでは、ポンプを傷めたりして吸水できない場合があります。
- 風呂の残り湯は、45℃以下で使ってください。

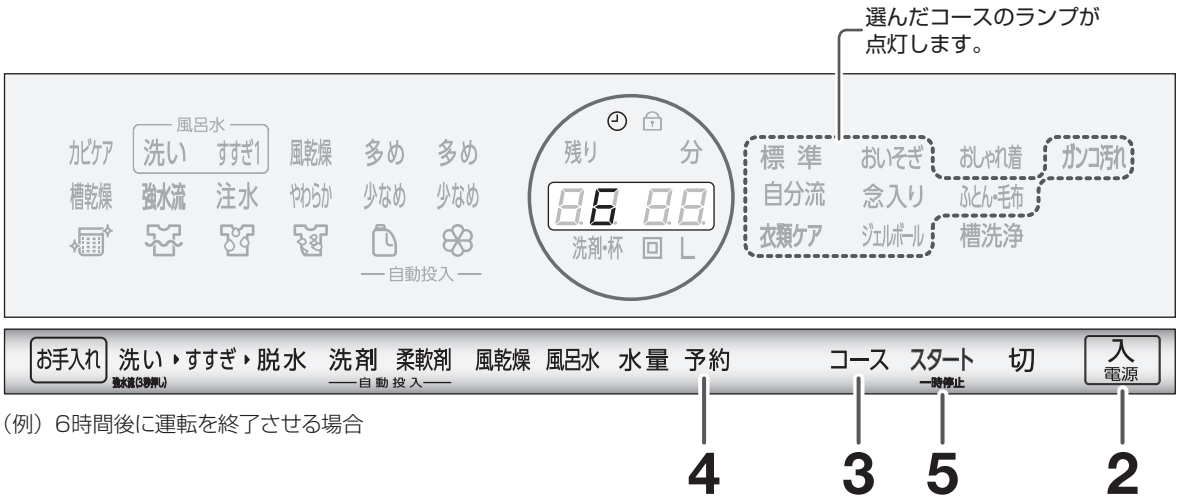


お知らせ

- 風呂水がなくなったり、洗濯途中で吸水しなくなったりした場合は、水道水に切り換わり、選んでいる風呂水表示を点滅しながら運転を継続します。
- 洗いの始めから風呂水を正しく吸水せずに水道水に切り換わった場合、運転終了後、20分間「U6 88」が点滅します。 ➡P59

予約運転をする

運転終了までの時間を予約できます。



（例）6時間後に運転を終了させる場合

お願い

- **水栓からの水もれがないか確認してください。**
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- 衣類のシワ付きを防ぐため、運転終了後すぐに干してください。

ジェルボール型洗剤

直接、「洗濯・脱水槽」内に入れてください。その際、ぬれた洗濯物から離し、洗剤に水分がつかないようにしてください。
（洗剤が流れ出てシミ・色落ちの原因）

粉石けん・液体石けん

固まる場合があるため、使わないでください。

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は変色や損傷の原因になるため、使わないでください。



お知らせ

- 「おしゃれ着」「槽洗浄」コースは設定できません。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときは、予約が取り消されます。
- 運転終了時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。

予約待機中の運転内容の確認	予約 をタッチする（5秒間表示）
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	電源を切り設定し直す

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「ふとん・毛布」コース➡P30~31は、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 入 電源 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

4 予約 運転終了までの時間を設定する

- 最長24時間後までを1時間単位で予約できます。

5 スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量・洗剤量を表示します。（「ふとん・毛布」「ガンコ汚れ」コースを除く） 布量検知➡P12
- スタートして約1分後、予約表示以外が消灯します。

6 上ぶたを閉める

- **自動投入を設定している場合、洗剤・柔軟剤は自動で投入されます。**

手動で投入する場合 予約時の洗剤類の入れかた➡P19

必要に応じて洗剤・柔軟剤を入れ、上ぶたを閉めてください。

（上ぶたが開いていると給水が途中で止まります。）

ブザーが鳴ったら、運転終了

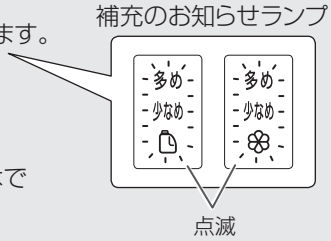
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

こんなとき

自動投入に使う液体洗剤・柔軟剤の種類を変えたい

自動投入タンク内の液体洗剤・柔軟剤を排出します。

- 液体洗剤・柔軟剤の残量が少なくなり、ランプが点滅してもタンク内には約100mL残っています。洗剤・柔軟剤の種類が混ざってもよい場合は排出の操作は不要です。
- 洗濯・脱水槽の中の衣類は取り出しておいてください。
- ランプが点滅していないときは操作できません。
  ただし、タンク内の液体をスポイト等で抜き取った場合は、ランプの点滅はしませんが、操作はできます。 ➡P43 **自動投入タンク・経路　お知らせ** を参考に液体を抜き取ってください。





お知らせ
- 自動投入タンク・経路を洗浄してから、液体洗剤・柔軟剤を入れたい場合は ➡P43の手順に従ってお手入れをしてください。

液体洗剤

1 水栓を開き 入 電源 電源を入れる

液体洗剤側と柔軟剤側は同時に操作できません。別々に行ってください。

2 多め 少なめ が点滅し残量が少ないことを確認する

3 洗い をタッチしながら スタート 一時停止 を約3秒間タッチし続ける
- 「ピー」と鳴り「」「」が点滅します。

4 洗剤 を2回タッチし、スタート 一時停止 スタートする
- 洗剤が排出されます。

柔軟剤

2 多め 少なめ が点滅し残量が少ないことを確認する

4 柔軟剤 を2回タッチし、スタート 一時停止 スタートする
- 柔軟剤が排出されます。

約10分後、ブザーが鳴ったら、運転終了

5 変更する液体洗剤を「液体洗剤注入口」から入れる

5 変更する柔軟剤を「柔軟剤注入口」から入れる

運転途中に運転内容を変更したい

水量
- すすぎ終了まで変更できます。

洗い・すすぎ・脱水・風乾燥の内容
- 洗い終了まで変更できます。　お好み設定 ➡P34~35

その他の変更は、電源を入れ直し、設定し直してください。

終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態で、スタート 一時停止 を約3秒間タッチし続ける
- 「ピー」と鳴り、設定完了
- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

再度鳴らしたいとき　設定時と同じ操作をする
- 「ピピッ」と鳴り、設定完了

こんなとき（つづき）

自動設定水量を調節したい

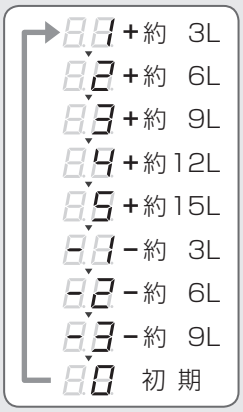
自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。洗濯をする前に設定してください。

1 入 電源 電源を入れ、水量 を押しながら スタート 一時停止 を約3秒間タッチし続ける

- 「ピー」と鳴り、「88 80」を表示します。

2 水量 をタッチする

- タッチするたびに調節する水量が変わります。
- 水量は、洗濯物の量や質・水道水圧により変わります。
- 最低水量22L～最高水量68Lの範囲内で調節されます
- 「1」変更するごとに、約3L増減します。



3 切 電源を切る

解除 設定時と同じ操作をする

- 「88 80」（初期）に設定する。

お知らせ

- 洗濯物の動きをよくしたいときは、「増やす」設定をしてください。
- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

洗いの水流を強くしたい（強水流）

洗浄力を高めるため、洗いの水流を強くすることができます。

強い水流で洗うコース 「標準」「自分流」「おいそぎ」「念入り」「ジェルボール」コース

電源「入」の状態で、洗い 強水流(4秒押し) を約3秒間タッチし続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了。「強水流」ランプが点灯します。

解除 設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了。「強水流」ランプが消灯します。

お願い

- 生地が傷みやすい洗濯物は、「強水流」で洗わないでください。

お知らせ

- 洗濯物の動きをよくしたいときに設定してください。
- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

のりづけをしたい

洗濯容量 1.5kg以下

使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり（酢酸ビニール系）

- 故障の原因になるため、上記以外は使わないでください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 入 電源 電源を入れ、「自動投入しない」設定にする ➡P17

3 コース 「標準」を選び、水量 （下表参照） 洗い 強水流(4秒押し) 「3分」・脱水 「1分」を設定する

水量	洗える量
50L	1.5kg以下
40L	0.5kg以下

お好み設定 ➡P34

4 スタート 一時停止 スタートし、上ぶたを閉める

5 給水が止まったら、スタート 一時停止 一時停止し、上ぶたを開け、洗濯のりを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

6 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

7 運転終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないでください。（乾燥機のフィルター目詰まりの原因）
- 糸くずフィルターを掃除してください。たまった糸くずなどが、のりで固まって取れにくくなります。

糸くずフィルター ➡P46

のりづけ後は洗濯・脱水槽を洗ってください

のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、入 電源 電源を入れ、コース 「おいそぎ」を選び 水量 「68L」・洗い 強水流(4秒押し) 「7分」・脱水 「1分」を設定する

2 スタート 一時停止 スタートし、上ぶたを閉める

- 運転終了後、水栓を閉じてください。

凍結のおそれがある

脱水運転終了後も、給水ホースや風呂水ホース、本体内部には水が少し残っています。
気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

その1 凍結防止(残水排水)設定をする

脱水運転が終了して9分後、残水を自動で排水します。
設定すると運転終了から10分間「Ud」を表示します。

入 電源 電源を入れ、脱水 をタッチしながら
スタート 一時停止 を約3秒間タッチし続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース・風呂水ホース・本体内部の水を抜く

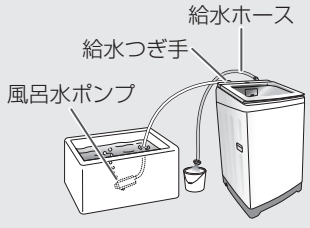
1 水栓を閉じ、上ぶたを閉める

2 入 電源 電源を入れ、
コース 「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートし、
すぐに 切 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 給水ホースの水栓側をはずし、
給水ホース内の残水をバケツなどで受ける

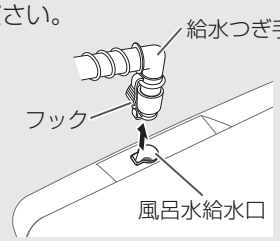


5 浴槽から風呂水ポンプを取り出し、ポンプのコードと本体から出ているコードをはずす

- コードをはずすときは必ずプラグを持ってはずしてください。

6 本体から給水つぎ手をはずし、
風呂水ホース内の残水を抜く

- 風呂水ポンプを浴槽に入れたまま、給水つぎ手をはずさないでください。水もれすることがあります。
- 給水つぎ手はフックを押しながら上に引き抜いてください。



7 入 電源 電源を入れ、コース 「標準」を選び、
脱水 「1分」を設定する

8 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 スタートする

- 本体内部の水を排水するためです。

凍結したときは…

1 給水ホースの接続部を蒸しタオルで包む



2 水栓を閉じ、給水ホースをはずし、お湯(45℃以下)につける

- 風呂水ホース・風呂水ポンプも同様にお湯につける。



3 約2Lのお湯(50℃未満)を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する

4 給水ホース・風呂水ホースをつないで水栓を開き、次の内容を確認する

- 手でパルセーターが回せるか
- 運転して給水・排水するか
- 風呂水を吸水するか

お願い

- 風呂水ポンプ・風呂水ホースなどは、凍結した状態で使わないでください。(故障の原因)

お手入れ

汚れたら　本　体

水滴・糸くず・汚れが付いたら…

2〜3回ご使用ごとに汚れを取り除く

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水を付けて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。

ご注意

- 上ぶたなどのプラスチック部分や本体に、洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合…
  すぐに水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。
  放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。

- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- 上ぶた(ガラス面)に薬品やガラスクリーナーなどを使わないでください。周辺部品のさびや破損の原因になります。

週1回程度　排 水 口

排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。

- 放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。



給水時間が長くなったら　E 1 を表示したら　給 水 口

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

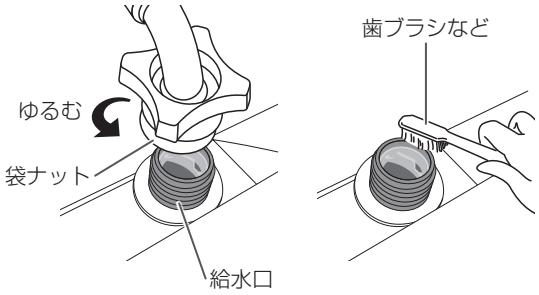
1 水栓を閉じ、上ぶたを閉める

2 入 電源 電源を入れ コース 「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートし、すぐに 切 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 袋ナットをゆるめてはずし、歯ブラシなどでゴミを取り除く

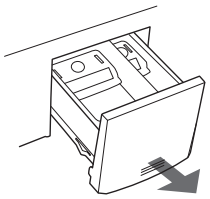


5 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける

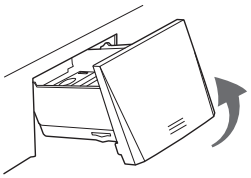
（傾いて取り付けると水もれの原因）

汚れたら　手動液体洗剤投入容器（洗剤投入容器）

1 洗剤投入容器を手前に引き出す

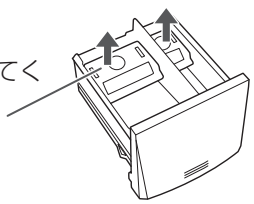


2 洗剤投入容器を斜め上に持ち上げてはずす

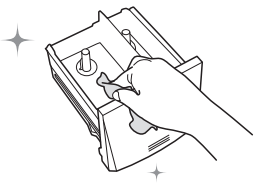


3 キャップをはずす

- キャップは上方向に引いてください。

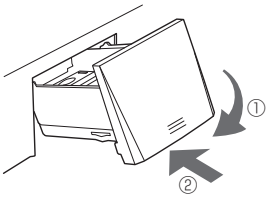


4 洗剤投入容器とキャップを水洗いし、やわらかい布で水分を拭き取る



5 キャップを元どおりに取り付ける

6 洗剤投入容器を斜め上から差し込み、奥まで押し込む



お願い

- 運転中にお手入れをしないでください。
- 「洗剤投入容器」をはずしたまま運転をしないでください。（水もれの原因）

お知らせ

- 運転終了後、給水経路内の残水が容器入ることがあります。

2～3カ月ごとが目安

自動投入タンク・経路

次のような場合にお手入れしてください。

- 2～3カ月ごとが目安
- 1カ月以上自動投入機能を使わなかったとき
- 液体洗剤・柔軟剤などを間違って入れてしまったとき
- タンク内の残量が少ない状態で1週間以上液体洗剤・柔軟剤を補充しなかったとき
- タンク内の液体洗剤・柔軟剤がゼリー状になったとき

液体洗剤

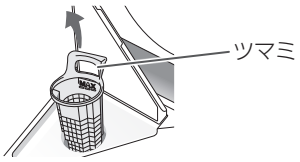
1 水栓を開き 入 電源 電源を入れる

液体洗剤側と柔軟剤側は同時にお手入れできません。別々に行ってください。

2 多め 少なめ が点滅し残量が少ないことを確認する

3 自動投入口のフィルターを取り出して水洗いする

- ツマミをつまんで上に引き抜いてください。



4 洗い をタッチしながら スタート 一時停止 を約3秒間タッチし続ける

- 「ピー」と鳴り「🫙」「❀」が点滅します。

5 洗剤 を3回タッチし、スタート 一時停止 スタートする

- 多め 少なめ が点灯し、残時間3分と表示したら洗剤が排出されます。

6
- 約3分後、ブザーが鳴り「0P」を表示したら…

「液体洗剤注入口」から40℃のぬるま湯約750mLをゆっくり入れてください。

7 スタート 一時停止 スタートする　**約58分後、ブザーが鳴ったら、運転終了**

- 自動投入口のフィルターを元に戻します。

お願い　● **フィルターは、「MAX」の文字が正面に見える向きに差し込んでください。**



文字が正面を向くようにセットする

柔軟剤

2 多め 少なめ が点滅し残量が少ないことを確認する

5 柔軟剤 を3回タッチし、スタート 一時停止 スタートする

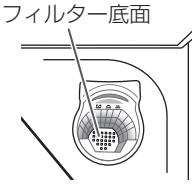
- 多め が点灯し、残時間3分と表示したら柔軟剤が排出されます。

6
- 約3分後、ブザーが鳴り「0P」を表示したら…

「柔軟剤注入口」から40℃のぬるま湯約750mLをゆっくり入れてください。

お知らせ

- タンク内の残量が少量になった状態で長期間放置した場合などタンク内で液体洗剤・柔軟剤がゼリー状になったときは手順6でぬるま湯を入れた後に30秒程度、棒状のもの(割りばしなど)で、かき混ぜてください。かき混ぜると溶けやすくなります。
- 自動投入タンクに液体洗剤･柔軟剤などを間違って入れてしまった場合は、フィルターをはずし、市販のスポイトなどでタンク内の液体を抜き取ってから、上の手順で自動投入タンク・経路のお手入れをしてください。フィルター底面に液体洗剤・柔軟剤がかからないところまで抜くのが目安です。この場合、手順2で 多め 少なめ 多め 少なめ は点滅しません。



お手入れ（つづき）

洗濯・脱水槽

洗剤カス・黒カビ

予防するとき

- 使わないときは上ぶたを開放して洗濯・脱水槽の水分を取り除く



- 洗濯時に「槽乾燥」➡P14を設定する

「槽洗浄」と「槽洗浄」が点滅したら　槽洗浄お知らせ➡P14

- 「槽洗浄」（3時間）コースでお手入れする

発生したとき

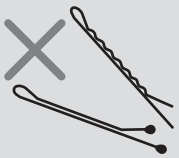
茶色い汚れが洗濯物についたら　洗濯・脱水槽から臭いが発生したら

- 「槽洗浄」（12時間）コースでお手入れする

さび

予防するために

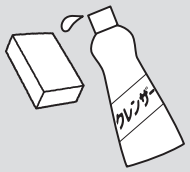
- 赤さびの混じった水やヘアピンなどさびやすいものを入れないでください。
- 水を入れたまま長時間放置しないでください。



発生したとき

- やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーを付けてさびを拭き取る

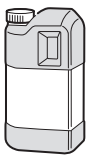
洗濯・脱水槽を傷めるため、金属たわしなどは使わないでください。



槽洗浄コース（3時間、12時間）

洗濯物は入れずに運転してください。

コース	使用するクリーナー
槽洗浄3時間	・市販の塩素系洗濯槽クリーナー ・衣類用塩素系漂白剤
槽洗浄12時間	・洗濯槽クリーナー(SWCLEAN-2) 別売➡P61



洗濯槽クリーナーを使うときは

- 換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。
- 本体に付着したら、すぐに拭き取ってください。

洗濯・脱水槽（つづき）



（例）12時間コースの場合

※糸くずフィルターが掃除されていることを確認してください。

お願い

- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使わないでください。泡が大量に発生し水もれの原因になります。
- 洗浄液を入れたまま24時間以上放置しないでください。
（故障の原因）

お知らせ

- 運転内容の変更はできません。
- 「風呂水」「予約」は設定できません。

クリーナーの種類	使用量
衣類用の塩素系漂白剤	200mL
市販の塩素系洗濯槽クリーナー	容器に記載の使用量をご確認ください。
洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-2）	1.5L（全量）

1 水栓を開き、入 電源 電源を入れる

- 洗濯物は入れないでください。

2 コース「槽洗浄」（3時間または12時間）を選ぶ

- 「コース」をタッチすると、以下のように時間表示が切り替わります。

槽洗浄3時間 → 槽洗浄12時間 → 「標準」コース

3 上ぶたを開けたまま、スタート 一時停止 スタートする

4 給水が止まったら、衣類用塩素系漂白剤または洗濯槽クリーナーを「洗濯・脱水槽」内に入れ、上ぶたを閉める

- 上ぶたが開いているため、「ピピッ」音とともに「U4」を表示します。
- 上ぶたを閉めると運転を開始します。数分間のかくはん後、約2時間または11時間つけおきをします。その後、洗い・すすぎ・脱水をします。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- **水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。**
- **浮き出た洗剤カスを拭き取ってください。**

汚れたら

洗剤・漂白剤投入口

洗剤などがこびり付いたら…投入口ふたを開け、やわらかい布で拭き取ってください。



こびり付きがひどい場合は水をかけながら、やわらかい布で拭き取ってください。

お願い

- 投入口ふたを開いた状態で無理な力を加えないでください。はずれる場合があります。
- 閉めるときは、「カチッ」とツメの音がするまで確実に押し込んでください。
- 洗剤・漂白剤投入口を使わないときは、投入口ふたを必ず閉めてください。洗濯物がひっかかり破損するおそれがあります。

お手入れ（つづき）

糸くずフィルター

運転後毎回

ネットが目詰まりすると、ゴミが取れにくくなります。

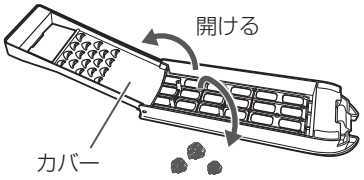
1 **上部をつまみ、手前に引いてはずす**

- 糸くずフィルターは2カ所あります。

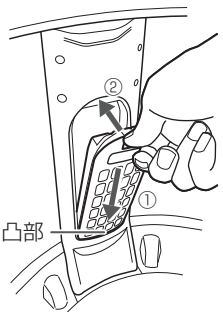


2 **裏返してカバーを開け糸くずを取り除く**

- 取りにくいときは水洗いしてください。



3 **カバーを閉め、糸くずフィルターの凸部を洗濯・脱水槽内に差し込んでから(①)、全体を押し込む(②)**



お願い

- 衣類が傷む原因になるため、必ず確実に取り付けて洗濯してください。
- お手入れは毎回行ってください。糸くずをためたまま洗濯をするとネット部の寿命が短くなったり、糸くずが逆流して洗濯物に付いたりする場合があります。

お知らせ

- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店にてお買い求めください。 別売➡P61

風呂水ホース関係

風呂

お手入れの前に…

洗濯物は、洗濯・脱水槽から出しておいてください。

- 風呂水ホースの残水でぬれるのを防ぐためです。

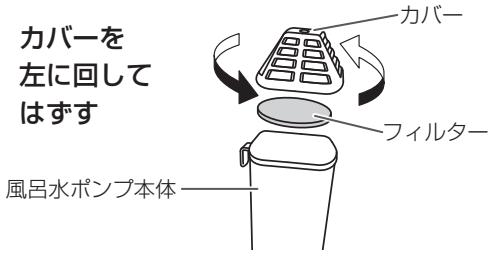
風呂水ポンプ

週1回程度

風呂

ポンプにゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

1 **カバーを左に回してはずす**



2 **カバーとフィルターを水洗いする**

3 **元どおりに取り付ける**

カバーを本体にかぶせ、カチッと音がするまで押し込んで取り付ける。

お知らせ

- フィルターは消耗部品です。お買い上げの販売店にご相談のうえ、お買い求めください。 別売➡P61
- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが悪くなり、吸水量不足で自動的に水道水に切り換わる場合があります。

風呂水ホース

風呂水吸水時間が長くなったら

風呂

別売の洗濯槽クリーナーで洗浄します。 別売➡P61

1 **浴槽から風呂水ポンプを取り出し、本体から風呂水ホースとコードをはずす**

2 **コードのプラグはぬれないように袋などをかぶせる**

3 **風呂水ポンプのカバーを左に回してはずす** 風呂水ポンプ **1** 参照

4 **風呂水ホースをバケツなどに入れ、給水つぎ手を固定する**

5 **うすめた洗濯槽クリーナーを風呂水ポンプ本体に流し込む**



- 洗濯槽クリーナー(15mL)は水(500mL)でうすめてください。
- あふれないように少しずつ入れてください。

お願い

- ゴム手袋などをして肌を保護してください。
- 衣類に付かないように注意してください。

6 **風呂水ポンプを固定し、約6時間つけおきする**



7 **風呂水ホースの内部を水道水ですすぐ**

8 **元どおりに取り付ける**

据え付け

据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
据え付け後は、必ず試運転をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。

1 据え付け場所の確認
2 底カバーの取り付け ➡P48
3 排水ホースの処理 ➡P48
4 水平の確認と調整 ➡P50
5 給水ホースの取り付け ➡P51
6 アース・電源 ➡P53
7 設置確認・試運転 ➡P54

1 据え付け場所の確認

⚠ 警 告

浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
（感電・漏電火災の原因）

お願い

- 据え付け前に排水口の掃除をしてください。排水口には、糸くずや汚れがたまりやすく、放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。
- 本体を移動するときは側面のとっ手を持ってください。

お知らせ

- 洗濯・脱水槽に水滴が残っていたり排水ホースから水が出たりすることがありますが、工場での検査時のものです。故障や不良ではありません。

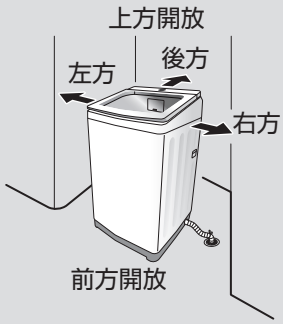
次のような場所には、設置しない

- **直射日光のあたる場所**
  （プラスチック部品の変色・変形の原因）
- **冬期に凍結のおそれのある場所**
- **平らでない床・弱い床・タイルなどのすべりやすい床の上**
  振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **ブロック・レンガ・角材やキャスター付きの台の上などの不安定な場所**
  （振動や騒音、本体が倒れる原因）
- **高い置台の上**
  （振動による本体の落下によりけがや本体の破損・水もれなどの原因）

本体は前方や上方を開放し、壁から表の寸法以上離すこと

異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
左方	※1.5
右方	※1.5
後方	1.5
下方	0



※排水ホース側は、壁から8cm以上、
真下排水パイプを使用した場合、
排水ホース側は、壁から15cm以上

テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない

（画像の乱れ・雑音の原因）

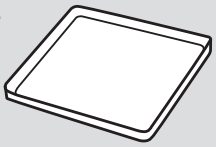
包装用台座は据え付け台として使わない

（本体故障の原因）

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと、本体の内側に結露（露付き）が生じます。この結露や水はねで床がぬれるのを防ぐためです。

別売➡P61

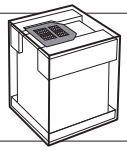


据え付け（つづき）

2 底カバーの取り付け

⚠ 注 意

底部から手足が入る場合は、付属の底カバーを取り付ける
（回転部などで手足のけがや感電の原因）



底カバーは上側の梱包材の中に収納されています。必ず取り出してください。
ネジは給水ホースの袋の中に入っています。

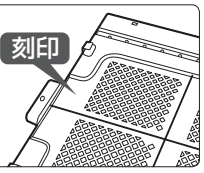
1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す（上ぶたが開かないようにテープなどで固定する）

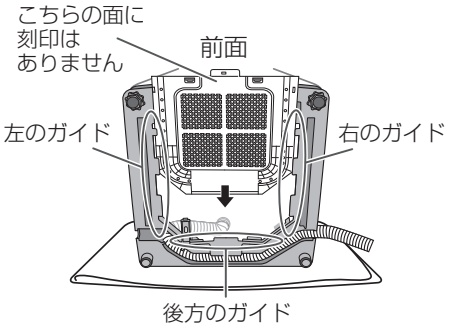
ご注意

- 上ぶたが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品の破損や故障の原因になりますので静かに倒してください。

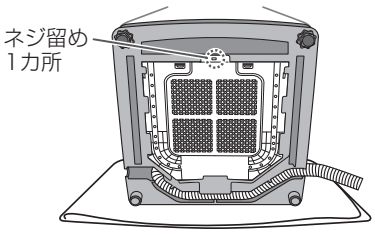
2 本体の左右のガイドに沿って底カバーを差し込み、後方のガイドに当たるまで押し込む

底カバーは刻印（「UP」「FRONT」）のある面が本体の内側になるように差し込む





3 1カ所をネジ留めし、固定する



4 本体をゆっくり起こす

- 取り付けなくてもよい場合でも、引っ越しなどで必要になる場合がありますので、底カバーは大切に保管してください。

3 排水ホースの処理

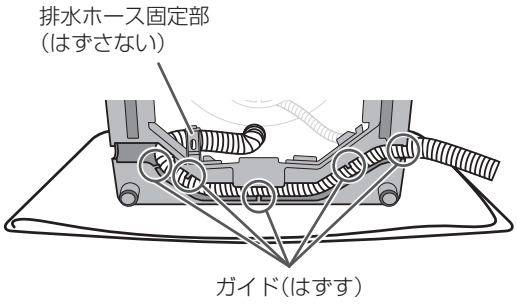
排水ホースを左側に付け換える場合

出荷時、排水ホースは本体右側から引き出されています。
排水口の位置が本体左側にある場合は、次の手順で付け換えてください。

※わかりやすいよう底カバー取り付け前の図で説明しています。

1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す（上ぶたが開かないようにテープなどで固定する）

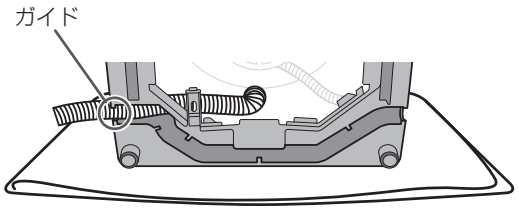
2 ガイド5カ所から、排水ホースをはずす



ご注意

- **排水ホース固定部は絶対にはずさないでください。**
（水もれ・異常振動の原因）

3 ガイド1カ所に排水ホースをはめ込む



4 本体をゆっくり起こす

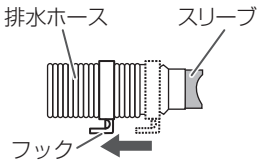
5 フックをずらし、排水ホースを排水口に差し込む

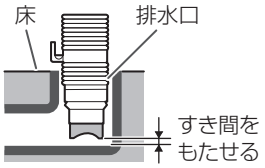
3 排水ホースの処理（つづき）

排水ホースを排水口に差し込む

フックをずらし、排水口に差し込む

スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。

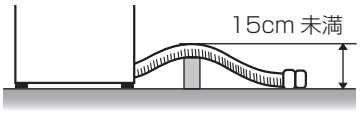




排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合がありますので、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

お願い

- 敷居などで排水ホースが高くなると、排水できないことがあります。途中の立ち上がりは 15cm 未満にしてください。

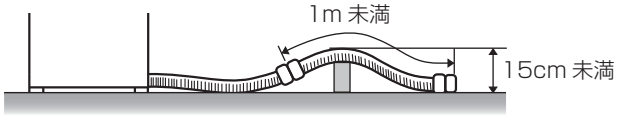


排水ホースを延長する場合

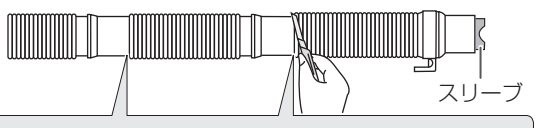
別売の**排水ホース補修キット**をお買い求めのうえ、取り付けてください。 別売 ➡P61

排水ホースを延長する場合や途中で高くなる場合は、次の表に従ってください。

排水ホースの状態	排水ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm 未満	1m 未満
途中で高くならない場合	—	3m 未満



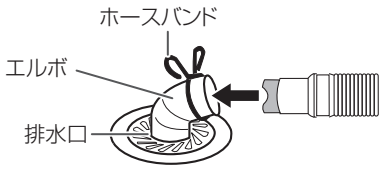
排水ホースが長すぎる場合



本体と排水口の距離に応じて、2カ所のうち、どちらかを切って先端にスリーブをはめ直してください。

排水口がエルボの場合

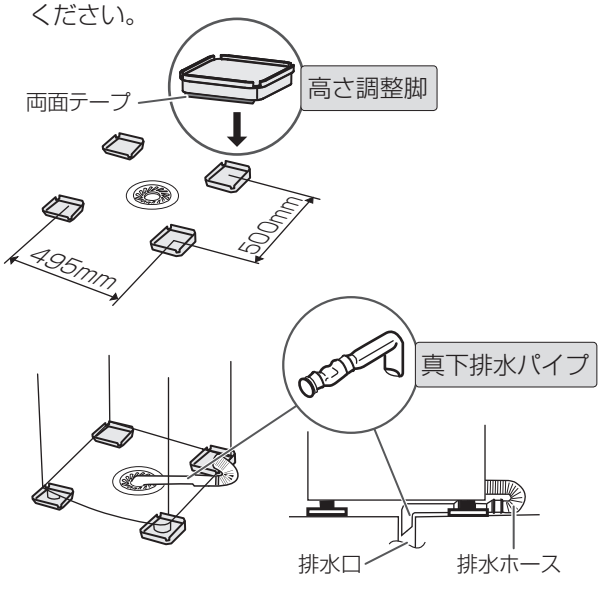
排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、別売の**ホースバンド**で確実に固定してください。 別売 ➡P61



排水口が本体の下にある場合

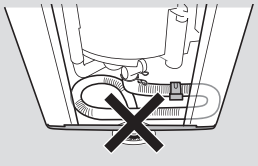
別売の**真下排水パイプ**と**高さ調整脚**をお買い求めください。 別売 ➡P61

※取り付け方法は、それぞれ別売部品の説明書に従ってください。



ご注意

- 本体下の排水口に直接排水ホースを接続することは、内部の回転部品に接触し、ホースの破れや異常音の原因になりますので絶対におやめください。



お願い

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。本体が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれしたりする原因になります。
- 洗濯パンのエルボがある場合は、エルボを取りはずして真下排水パイプをご使用ください。

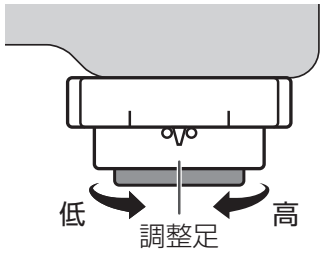
据え付け（つづき）

4 水平の確認と調整

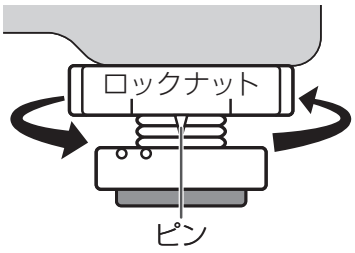
設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。以下の手順に従って、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

1 ガタつきがないように調整足(前面２カ所)の高さを調整する

- 本体を傾け前面を浮かし、調整足を回して高さを調整してください。



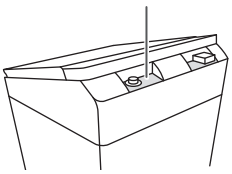
2 ピンをはずして矢印方向にロックナットを回して固定する



3 水準器で水平度を確認する

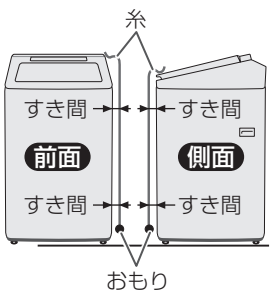
- 水準器は本体後部の平らな箇所に置いてください。

水準器を置く場所

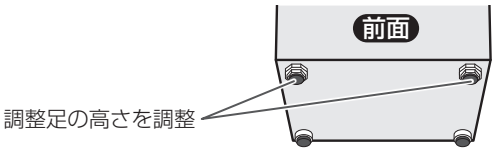


- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を下図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。

糸と本体のすき間が上下同じなら水平



4 水平度に応じ、調整足で調整する



5 本体上端の対角（右前・左後および左前・右後）を押さえて、ガタつきがないか確認する



ご注意

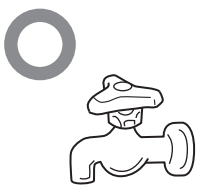
- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因になります。必ず水平になるよう調整してください。

5 給水ホースの取り付け

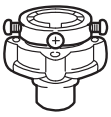
- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1 水栓形状を確認する

横水栓

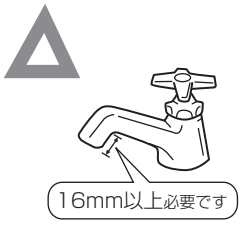


付属の給水ホースからマジックつぎ手をはずして(はずしかたは下図参照)取り付けてください。



→ step2

角口水栓

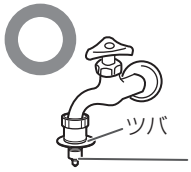


付属の給水ホースからマジックつぎ手をはずして(はずしかたは下図参照)取り付けてください。

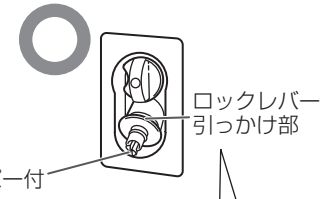
→ step2

オートストッパー水栓(洗濯機用)

壁埋め込み以外



壁埋め込みタイプ



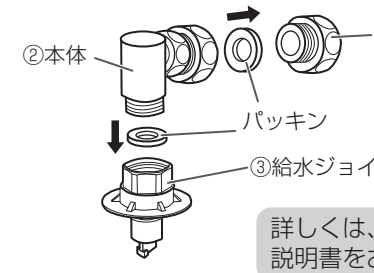
給水ホースのロックレバーが引っかからない、しっかりと差し込めない、ぐらつくなどの場合は水栓メーカーにご確認ください。

直接、給水ホースを取り付けてください。
付属のマジックつぎ手は使用しません。 → step3

万能ホーム水栓

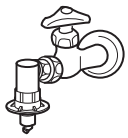


別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。
別売 ➡P61



詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。

①②③を使用



給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 → step3

自在水栓



別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。
別売 ➡P61

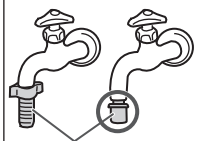
詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。

①③を使用



給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 → step3

カップリング横水栓



取り付けができてもストッパーが付いていないと使えません

別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。
別売 ➡P61

詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。

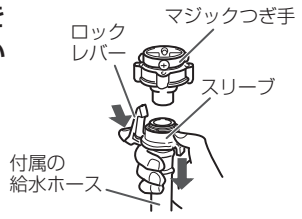
③を使用



給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 → step3

マジックつぎ手を付属の給水ホースからはずす

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて、付属の給水ホースからマジックつぎ手をはずす



本書に記載している別売部品以外は、日本電機工業会規格 JEM1206 に準拠している水栓（オートストッパー付、ツバあり）をお使いください。水栓メーカーの洗濯機用水栓でも適合しないものがあり、水もれのおそれがあります（保証の対象外）。特にツバのないものは使用できません。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

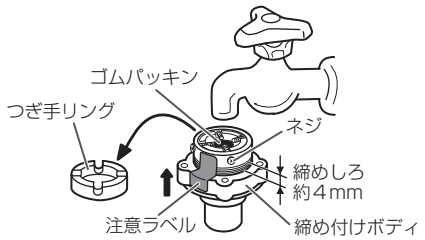
据え付け（つづき）

5 給水ホースの取り付け（つづき）

step2 マジックつぎ手を取り付ける

1 **ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる**

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

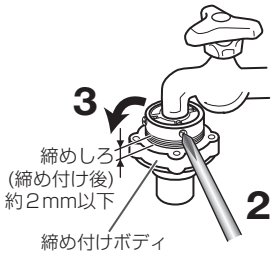


2 **水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける**

- 壁側になるネジは前もって調整しておくと便利です。

3 **注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける**

- 強く締め付けないと水もれするおそれがあります。



ご注意

- **取り付けかた・転居の際の取り替え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合**
  1 図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。
- **パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合**
  マジックつぎ手を取り替えてください。転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- **ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。**
- **今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り替えてください。**

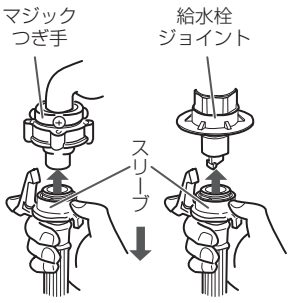
お願い

- 水栓の形状が合わないときや取り付けができないとき、水もれが発生するときはお買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

step3 給水ホースを取り付ける

水栓側

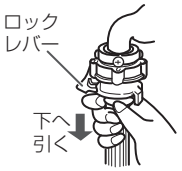
1 **スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手**（または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓）**に差し込む**



2 **スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む**

3 **ロックレバーがかかっているのを確認した後、給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する**

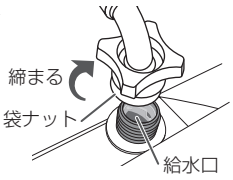
- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。(水もれの原因)



本体側

1 **袋ナットの先を給水口にあてがう**

2 **袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける**
（傾いて取り付けると水もれの原因）



ご注意

- **転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。**
- **給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。**

5 給水ホースの取り付け（つづき）

給水ホースをはずす場合

水栓を閉じるだけでは水が飛び散りますので、
次の手順を必ずお守りください。

1 水栓を閉じ、入 電源 電源を入れる

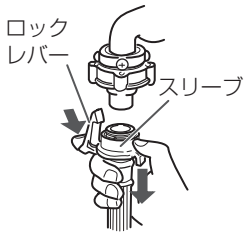
2 コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートし、
すぐに 切 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 水栓側

ロックレバーを押し、
スリーブを引き下げて
給水ホースをはずし、
給水ホース内の残水を
バケツなどで受ける



5 本体側

袋ナットをゆるめて
はずす



給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。 別売➡P61

6 アース・電源 アース工事は有料です

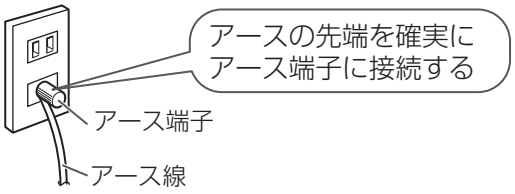
⚠ 警 告

アースを確実に取り付ける
（故障・漏電による感電の原因）

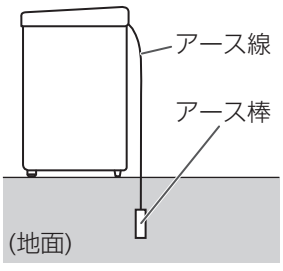
- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはずしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。

**定格15A以上・交流100Vの
コンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む**
（火災・感電の原因）

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い

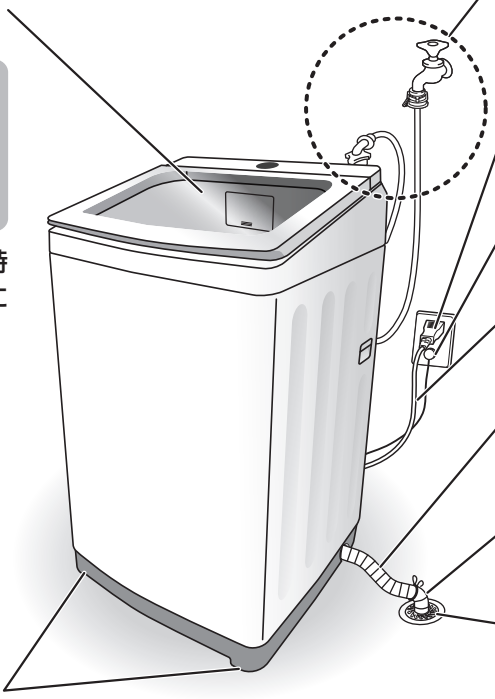
- ガス管・電話線や避雷針・水道管には接続しないでください。（法令などで禁止されています）

据え付け（つづき）

7 設置確認・試運転 必ず行ってください

必ず設置確認・試運転を行ってください。

重要確認箇所



- ☐ 水準器などにより水平設置されていますか。➡P50
- ☐ 本体上端の対角(右前・左後および 左前・右後)を押さえたとき、ガタつきはありませんか。
  - ガタつきがあると、脱水時の振動・騒音・故障の原因になります。➡P50



- ☐ 調整足はしっかり締まっていますか。➡P50
- ☐ 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか。➡P51~53
- ☐ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使っていますか。➡P53
- ☐ アースは確実に取り付けられていますか。➡P53
- ☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか。
- ☐ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満になっていますか。➡P49
- ☐ 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。➡P49
- ☐ 排水できましたか。
  - 排水口に糸くず・ゴミなどが詰まっていると排水できません。

試　運　転

①給水➡②洗い➡③排水➡④脱水 運転(約5分)を行います。

- 洗濯・脱水槽内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。
- 水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。

1 水栓を開き、上ぶたを閉める

2 電源「入」の状態で
洗い（槽水流(4秒押し)） と すすぎ をタッチしながら
スタート（一時停止） スタートを約3秒間
タッチし続ける
- 「ピー」と鳴り、「88 88」を表示します。

3 スタート（一時停止） スタートする
- 試運転を開始し、残時間 

(5分)を表示します。

約5分後に自動終了します。

- **異常な音・ガタつき・揺れはでていませんか。**
  設置状態にガタつきはありませんか。
- **水もれはありませんか。**
  給水ホース・排水ホースの接続部から水滴がにじんでいませんか。

次の異常時には、エラー表示とブザーでお知らせします。

- E11 ● 給水ホースが接続され、水栓が開いていますか。
- E12 ● 排水ホースの確認
  - 立ち上がりは15cm未満になっていますか。
  - 排水口(フィルターやトラップ部)が糸くずなどで詰まったり、ふさがれたりしていませんか。

一時停止後、エラーの原因を取り除きスタートすると運転を継続します。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
本体	運転しない	• 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 • 電源が入っていますか。 • 「スタート/一時停止」ボタンをタッチしましたか。 • 予約中ではないですか。 • 上ぶたが閉まっていますか。 • 水栓を開いていますか。 • 停電していませんか。 • ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源を切っても 操作パネル部が熱を持っている	• 部品の放熱作用によるものです。故障ではありません。
	運転中の振動、音が大きい	• 本体の設置が正しく行われていますか。　水平の確認と調整➡P50 • 洗濯物が片寄っていませんか。 　• 一時停止し、片寄りを直して再スタートしてください。
洗い・すすぎ	給水前に パルセーターが回転する	• 洗濯量を検知しているためです。　布量検知➡P12
	少ない水量で パルセーターが回転する	• 「標準」「自分流」「念入り」「ジェルボール」「ガンコ汚れ」コースでは、高濃度の洗剤液を繊維の奥まで浸透させるため、少ない水量からかくはんが始まります。 浸透濃縮行程➡P12
	途中で給水する	• 水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。以下の原因が考えられます。 　• 洗濯物を後から追加した。 　• 水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 　• 洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。 　• 柔軟剤を自動的に追加した。
	注水すすぎなのに ためすすぎになる	• 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。
	すすぎからスタートすると 給水しない	• 排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。

故障かな？（つづき）

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
脱水	ためすすぎが追加される （給水する）	• 洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない（脱水の回転数が上がらない）ときは、ためすすぎを追加します。 排水ホースの処理 ➡P49
	始めから高速で脱水しない	• 脱水を効果的に行うために、徐々に回転数を上げて運転しています。
	脱水の途中で すすぎになる （給水する）	• 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
	自分流コースで 脱水が設定できない	• 風乾燥を記憶していると脱水の設定ができません。「風乾燥」の表示を消灯させてから「脱水」を設定してください。
風乾燥	乾きが悪い	• 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境などにより仕上り具合が変わります。タイマー式のため、乾きに関係なく終了します。乾き具合に応じて風乾燥を追加設定してください。 • 洗濯量が多すぎませんか。化繊混紡の衣類で3.5kg以下にしてください。洗濯量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 • 脱水が不十分な洗濯物を入れていませんか。 • 化繊混紡以外の衣類が混ざっていませんか。　風乾燥をする ➡P32
	運転が終了しても 乾いていない	
水量	洗濯物の量に対する 水量の表示がおかしい	• 水量は、洗濯量で決まります。 化繊など軽いものが多いときに水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときに多く表示したりすることがありますが、故障ではありません。 布量検知 ➡P12
	同じ量を洗っているのに 水量表示が違うことがある	
時間	洗濯時間が長い	• 所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。また、毎分5L以下の場合、洗濯・脱水槽に水をためる時間が大幅にかかり、さらにすすぎをよくするため、ためすすぎを１回追加しますので洗濯時間は長くなります。 • あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。 • 残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態などにより、補正しながら表示しているため、変わることがあります。
	残時間表示が途中で変わる	
風呂水	風呂水を吸水しない 風呂水が正しく吸水できないときは、自動的に水道水に切り換わり、運転を継続します。	• 「風呂水」ボタンをタッチして、風呂水使用行程を設定しましたか。 • 風呂水ポンプのコードと本体のコードを接続していますか。➡P36 • 給水つぎ手は風呂水給水口に確実に差し込まれていますか。➡P36 • 風呂水ホースを巻いたまま使っていませんか。➡P36 • 風呂水ホースの折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 • 風呂水ホースの最も高い位置から水面までの高さが1.0m以上ありませんか。 ➡P36 • 風呂水ポンプのフィルターにゴミがたまっていませんか。➡P46 • 風呂水ポンプが浴槽の水中に入っていますか。 • 浴槽の中に残り湯がありますか。 • 発泡・ゼリー・とろみタイプの入浴剤を使っていませんか。➡P37

	状　態	原　因／調べるところ
音	運転終了後に 「ジー」と音がする	• 凍結防止（残水排水）設定をしている場合は、凍結を防ぐため、排水バルブの水抜き音がします。 凍結防止方法 ➡P41
音	脱水終了後に 「シャー」「チャプチャプ」と音がする	• 本体の振動をおさえるために、洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに「シャー」「チャプチャプ」という音がすることがありますが異常ではありません。
音	給水が止まるたびに 「コンコン」「ゴン」と音がする （ウォーターハンマー現象）	• 給水が止まるとき、水道管内の圧力が急激に変化することにより音が発生します。本体の故障ではありません。水栓の開き具合を調整すると音を抑えることができる場合があります。それでも直らない場合は、水道専門業者にご相談ください。
臭い	異臭がする	• 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 • 定期的に排水口を掃除してください。 ➡P42 • 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 • 洗濯・脱水槽に付着している洗剤カス・黒カビなどにより臭いが発生する場合があります。 処置 • 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄」12時間コースでお手入れしてください。 ➡P44 • 洗濯時に「槽乾燥」を設定すると、臭いの発生を防ぐことができます。 ➡P14 • 使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。
自動投入	自動投入されない	• 自動投入しない設定になっていませんか。 ➡P17 • 自動投入タンクの残量が少なくなっていませんか。 ➡P16 • 経路が詰まっていませんか。 ➡P43 • 「ジェルボール」「おしゃれ着」コースは洗剤の自動投入をしません。
お手入れ機能	「カビケア」が設定できない	• 「すすぎ」や「脱水」をなしに設定すると「カビケア」は設定できません。
お手入れ機能	「槽乾燥」が設定できない	• 「槽乾燥」は「カビケア」を設定した場合のみ、設定できます。 ➡P14 • 「槽乾燥」のみ行いたい場合は、洗濯物を入れずに「風乾燥」60分の運転をしてください。 ➡P33

故障かな？（つづき）

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
その他	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホース接続口から 水が出る	• 工場での検査時の残水で故障や不良ではありません。
	衣類が黄変する	• 水道水のさび・石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をお使いください。
	糸くずの付着が気になる	• すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。　お好み設定➡P35 • 水量を多めに設定してください。➡P40 • 糸くずフィルターを掃除してください。➡P46 • 「糸くずの付着が気になる衣類」➡P11
	洗濯終了後上ぶたを閉めると 洗濯・脱水槽が回転を始める	• 「槽乾燥」を設定していませんか。➡P14
	終了ブザーが鳴らない	• 終了ブザー音を消す設定になっていませんか。➡P39
	粉末洗剤が溶け残る	• 粉末洗剤の溶け残りが気になるときは、「洗剤・漂白剤投入口」に入れてください。➡P18
	洗濯の途中なのに 運転が止まってしまった	• 上ぶたが閉まっていますか。 • 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 • お好み設定方法を間違えていませんか。 • 「槽洗浄」コース運転中ではありませんか。（長時間つけおきをします。） 以上の原因でないときは「こんな表示がでたら」➡P59～60をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな表示がでたら

表示／状態	調べるところ	処置
E1 給水しない	• 水栓を開いていますか。 • 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。 ➡P42 • 凍結していませんか。 ➡P41 • 断水していませんか。 • 井戸水を使っていませんか。 ➡P5	一時停止後、 異常原因を取り除き、 スタートする
E2 排水しない	• 排水ホースを倒していますか。 • 排水ホースがつぶれていませんか。 • 排水ホースが途中で高くなっていませんか。 ➡P49 • 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P49 • 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡P42	
U3 脱水しない	• 洗濯物が片寄っていませんか。 • 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。 ➡P50 • 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P49 • 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡P42 • 洗濯物を取り出さずに「槽乾燥」をしていませんか。 ➡P14	
U4 運転しない （一時停止している）	• 上ぶたが開いていませんか。	上ぶたを閉める
U6 洗いのときに風呂水を正しく吸水しない 自動的に水道水に切り換わり運転を継続し、終了後に異常報知します。	• 風呂水ポンプのコードと本体のコードを接続していますか。 ➡P36 • 給水つぎ手は風呂水給水口に確実に差し込まれていますか。 ➡P36 • 風呂水ホースを巻いたまま使っていませんか。 ➡P36 • 風呂水ホースの折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 • 風呂水ホースの最も高い位置から水面までの高さが1.0m以上ありませんか。 ➡P36 • 風呂水ポンプにゴミがたまっていませんか。 ➡P46 • 風呂水ポンプが浴槽の水中に入っていますか。 • 浴槽の中に残り湯がありますか。 • 発泡・ゼリー・とろみタイプの入浴剤を使っていませんか。 ➡P37	運転終了後、 異常原因を取り除く
風呂水 洗い すすぎ1 風呂水を正しく吸水しない 選んでいる風呂水表示を点滅しながら、自動的に水道水に切り換わり運転を継続します。		

こんな表示がでたら（つづき）

表示／状態	調べるところ	処置
UA タンクの排水ができない	・自動投入タンク内の液体洗剤・柔軟剤の残量が多くありませんか。液体洗剤・柔軟剤のランプが点滅しないと排出操作はできません。	スポイトで液体洗剤、又は柔軟剤を吸い出し スタート を2回タッチする この場合、スポイトで吸い出しても、液体洗剤・柔軟剤のランプは点滅しませんが排出はできます。
UL 上ぶたが開かない	・チャイルドロックを設定していませんか。➡P15	
Ud 運転後表示する	・凍結防止（残水排水）を設定していませんか。➡P41	
その他の表示 E41 E42 E45 E46 E902 EA Ed1 EF など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。	

修理を依頼する前に　初期化をお試しください

本体が、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に作動しない場合があります。次の手順に従い初期化を行ってください。購入時の設定内容に戻ります。ただし、自動設定水量の調節➡P40は解除されません。

初期化の方法

1 入 電源　電源を入れる

2 風呂水　約5秒間タッチし続ける
・「ピー」と鳴り、初期化が完了

3 切　電源を切る

もう一度電源を入れて、動作を確認してください。

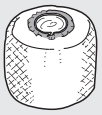
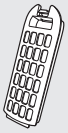
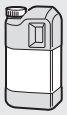
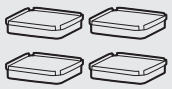
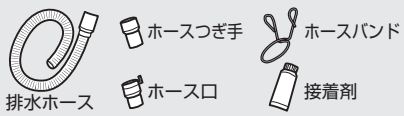
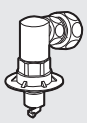
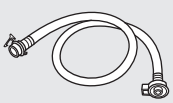
なお、異常があるときは、内部をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店、または当社修理相談窓口➡P63にご連絡ください。

お願い
- 故障などで、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。洗濯物は手洗いなどをしてください。

別売部品

お買い上げの販売店でお求めください。

希望小売価格は2023年4月現在

部品名	部品コード・品番	希望小売価格
大物洗い用洗濯ネット 	CN-3 301 0 2169 20500	3,850円(税込)
フィルター(消耗部品) (風呂水ポンプ用) 	6351192241	220円(税込)
糸くずフィルター 抗菌 (消耗部品) 	LINT-52 0030811660A	880円(税込)
洗濯槽クリーナー 	SWCLEAN-2 0530068324	2,310円(税込)
洗濯機トレー 露付きによる床のぬれ防止用に 幅660×奥行660×高さ32mm(外寸) 	TRAY-5 301 2 4134 21400	7,700円(税込)
ホースバンド(排水ホース用) 	301 2 3341 19900	220円(税込)
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部に あるときに 	● HW-PIPE-2(商品扱い) ● SW-PIPE-1(サービス扱い) 301 0 3224 00100	1,320円(税込)
高さ調整脚(4個セット) 真下排水パイプを使用するときに 本体の高さが約20mm高くなります。 2個(約40mm)まで重ねられます。 	HW-KYAKU-ASW(商品扱い)	660円(税込)
排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに 長さ1.34m 	S114755	1,870円(税込)
給水栓ジョイント 水もれ防止機能付き ※水栓形状によっては、取り付けできないものがあります。 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	CB-J6 301 0 3470 25000	2,640円(税込)
給水延長ホース 	【1m】301 0 3275 24900 【2m】301 0 3275 25000 【3m】301 0 3275 25100	1,870円(税込) 2,420円(税込) 2,860円(税込)

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種類	全自動電気洗濯機
洗濯方式	うず巻式
外形寸法	幅620×奥行600×高さ1028(mm)
製品質量	46kg
電源	100V・50Hz-60Hz共用
電動機の定格消費電力	420W(50-60Hz)
標準洗濯容量 標準脱水容量	10.0kg(乾燥布質量)
標準水量	55L
標準使用水量(標準コース)	103L
使用水道水圧	0.03～1MPa(0.3～10kgf／cm^2)
運転音(約)	洗い時：34dB　脱水時：38dB

風呂水ポンプ

揚水量	10L／分(吸い上げ高さ1.0m・ホース4mのとき)

- 品番の(　)内記号は色記号です。
- 待機時消費電力(電源を「切」にした状態の電力)は、0(ゼロ)です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本産業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。
- 運転音は、日本電機工業会自主基準「洗濯機性能評価基準」による表示です。

保証とアフターサービス

保証書(裏表紙)

「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡P59～60に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じ、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	全自動電気洗濯機
品番	AQW-VA10PBK
お買い上げ日	年　月　日
お名前	
ご住所･電話番号	
故障の内容	できるだけ具体的に

◆保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間をすぎている場合は
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆修理料金の仕組み 修理料金は､次の内容で構成されています。

技術料	診断､修理､調整､点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により､技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は､製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテルなどでの業務用使用、寮や病院など共同使用により 1 日の使用時間が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品（モータ･軸受などの機構部品）の交換が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談および部品のご購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	固定電話	0120-880-292
	携帯電話	0570-040-292（有料）
	FAX	0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～18：30
　　土曜･日曜･祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	固定電話	0120-778-292
	携帯電話	0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。　https://aqua-has.com/privacy/

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水もれがする。（ホース、マジックつぎ手） ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉じて必ず販売店に点検をご相談ください。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質【注1】を含有しておりません【注2】。
(JIS C 0950「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
https://aqua-has.com/about/j-moss/

アクア 株式会社
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

0030519415